

地情報 DIGITAL

第33巻
第3号
通巻第127号
平成25(2013)年
11月1日発行

ISSN 0286-3111

CHIZU JOHO

International Cartographic Information Center

編集発行 一般財団法人 地図情報センター

Vol.33 No.3

127

特集

富士山と地図

本号は通巻第127号を電子端末での閲覧に適した形に再編集したものである。

富士登山案内図(昭和5年7月5日発行、伊勢屋商店、藤本一美氏蔵)





富士山の総合地図展を

西川 治

東京大学名誉教授

「世界地図を俯瞰するように、……」とは、現総理の年頭所信表明の中で、小耳に挟んだ殊勝な言葉です。「仰いで以て天文を觀、俯して以て地理を察する」との古来の帝王学をふまえた「国土を安泰にして、仁に敦く、人を愛する」施策に期待しています。そして、国民には地球の宝、文芸・学術の名峰とも自負するのであれば、富士山の絵図類や地形図・主題図などについてもさらに関心を高めて頂くようにと願ってやみません。

およそ国のみなかに湾岸から聳え立つ秀峰には、万葉集以来の名歌がまさに不尽の山。その可視圏は東方により広く開けていて、都人に対する東人の引け目をいやし、江戸開祖の城主は軒端にぞみる富士の高嶺を誇らしげに詠み、大江戸の民は花見と富士見とを合わせて楽しめた。八百八町の多様な風景の中で様々な仕事に励む職人たち、その動作を彼方からそれとなく見守る霊峰は、浮世絵の中でも格好の点景とされている。参勤交代・商人・富士講中などなど東西行き交う人々に

とっては、富岳を眼目とする絵図、道中図、広域図や富士模様の品々がとりわけ土産物として愛好された。

中世の「富士参詣曼荼羅図」は江戸時代に流行した一枚刷り富士案内図の源流と見做され、江戸時代中期の手書き「富士直図（富岳図）」は、富士山を真上から見た図の意味であろうが、これは各方面からみた側面形を巧みにまとめた平面図である。この手法は天保14（1843）年刊行の「富士見十三州輿地之全図」にも踏襲されている。日本列島の鳥瞰図でも著名な鋏形蕨斎（1764～1824、北尾政美）は、文化6（1809）年には肉筆画「江戸一目図」六曲一隻屏風（津山郷土博物館蔵）を作成、その原図ともいえる大大判一枚摺り「江戸名所之絵（通称江戸鳥瞰図）」は大いに普及した。（小澤 弘、『浮世絵大辞典、東京堂出版、2008』）

18世紀前半に始まる蘭学の導入は、日本の学術や文芸などに影響を広げていくが、たとえば司馬江漢（1747～1818）は、洋画風の富士山も描き、銅板刷りの世界地図も作成した。伊能忠敬（1745～1818）は、フランスにお

ける子午線計測を追うがごとく、1800年から日本実測にかかり、富士山の方位測定は実に274箇所及び、1143回も行った(佐久間達夫氏による)。伊能大図に描かれた富士山頂に向けて各地から、多数の朱色測線が放射状に引かれている。その南端は御蔵島、西端は志摩。

維新前における富士山の比較的正確な高さは、F.シーボルトの測定値3793メートルであるが、最近野村正雄氏はシーボルト自筆の測高用気象観測や測高度計算を含む新資料を探索した上で、上記測定値に至る過程を解明された。なお、明治20(1887)年測図、同24年発行の2万分1地形図「富士山」と、1888年測図、同1897年第1回修正測図5万分1地形図に記載された標高は3778メートルであった。

その後地形図の縮尺は2.5万分1となったが、言うまでもなく集落・田畑・桑や茶畑・竹林などの区域も記されているので、富士山と隣接図幅の修正図ごとにそれぞれの地目を色分けすれば、土地利用ないし景観の変遷を考察するためにも基本的な資料となる。さらに、津屋弘遠「富士火山地質図」(1:50,000地質調査所、1968)

と、「1:50,000、火山土地条件図、富士山」(国土地理院、1988)、諸年次の空中写真やリモセン画像、それらに加えて、たとえば早田文蔵の先駆的労作“BOTANICAL MAP OF MT. FUJI”(1926)や、富士急電鉄の浩瀚な記念出版物「富士山」(1971)の各種主題図、H. G. Ponting(1905)撮影の富士山写真集をはじめとする貴重な記録などなどを相互に付き合わせて学術的にも誇れる名山の全体像を顕示したいものである。

そのみならず、富士山体周辺地域の各種博物館などには、たとえば「駿河之国全図」(松島堂、木版、1827)とか、村絵図といった文化財が多々収蔵されている。さらに地元の教育委員会や研究者方の尽力による力作、たとえば、「富士宮市道祖神地図」(富士宮市教育委員会、平成14年3月29日発行)には、338基に及ぶ所在地・建立年月日の一覧表、2万分1の地形図にはそれらの地点が赤色の通番号で明示され、103基の写真も掲載されている。文化財登録を記念して、こうした新旧の名作を一堂に集めた「富士(不二)山総合地図展」の開催をこの誌面をかりて、広く切に訴える次第である。

● 巻頭随筆

富士山の総合地図展を	西川 治	2
------------	------	---

● 特集 富士山と地図

富士山可視マップ	田代 博	6
富士道中日記に富士講を読む－富士講と人生儀礼を中心にして－	西海賢二	12
富士塚～転写された富士山の霊性～	有坂蓉子	22
富士見十三州輿地全図と浮世絵の富士	森山悦乃	34
富士山頂お鉢の絵図と山名	藤本一美	43

● 地図楽

読図のヒントXVI 富士山の旧版地形図あれこれ	清水靖夫	49
紙の地形図をじっくり眺めてみよう		
第14回 今度は気仙沼まで行ってきました	伊藤 等	53
古地図を旅するXI 地図皿の世界	三好唯義	57

文献紹介

東京凸凹地形案内 2	大城直樹	61
完訳 日本奥地紀行 1~4巻	滝沢由美子	63
蘭学家老 鷹見泉石の来翰を読む - 蘭学編 -	水谷一彦	65

資料室

2013年6月号~2013年8月号		67
(一財)地図情報センターからのお知らせ		65
表紙・裏表紙解説	藤本一美	83
付録解説	田代 博	83

付録「日本の富士山 郷土富士カレンダー 2014」

富士山可視マップ

筑波大学附属高校
田代 博

「富士山可視マップ」は、富士山が見える地域を表した地図である（私が命名。初出は大岡他『富士山』1987年。その時は「富士可視マップ」。地図自体は「岳人」1986年4月号が初掲載）。かつては地図を使った手作業（計算と図化）で膨大な時間がかかったが、現在はパソコンソフトとデジタルデータ（数値地図標高データ）の整備により、簡単な操作で、かつ短時間で描くことができるようになった。

この富士山可視マップにより、富士山が見える最遠の地を確定できる。

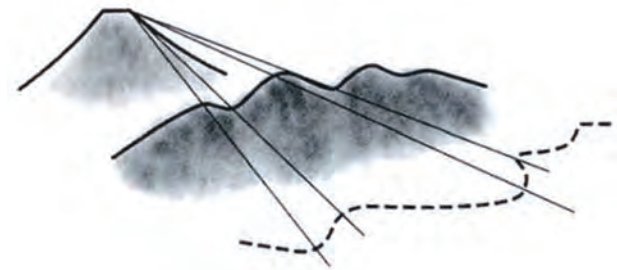


図1 見えるかどうかの考え方

富士山が世界遺産に認定されたのを受け、多くの「富士山本」が出版されており、必ずと言ってよいほど、富士山が見える限界の地をテーマに挙げている。しかし、どうしたことか、その内容には誤りが多い。可視マップを使っても、地図自体の説明がない。

富士山が見える地域を微細に明らかにすることをライフワークの一つとしている立場から、富士山可視マップについて、色々な角度から述べることにする。

■富士山が見えるかどうかの考え方

ある場所から富士山が見えるかどうかはどのように考えればよいのだろうか。視点になる場所から対象（富士山）を望んだ時、間にある山が見かけ上富士山よりも高ければ、視点から富士山は見え、富士山より低ければ見える（図1）。これは視点の高さ、間にある山の高さと距離を地図から読み取ることによって、計算で判断できる。この時のキー概念が「見かけの高さ」である。図2はそれの求め方を示したものである。

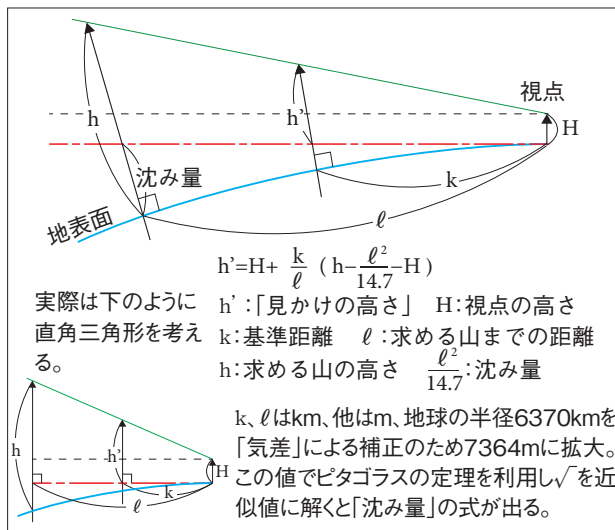


図2 「見かけの高さ」の求め方

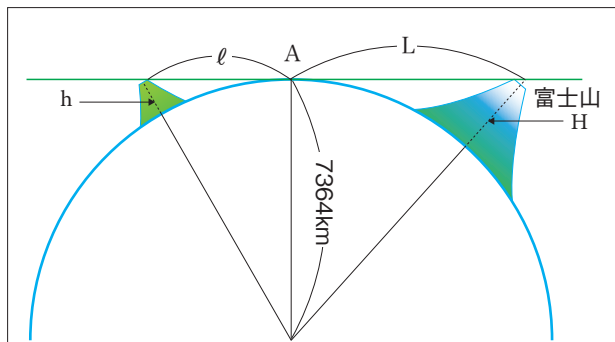


図3 限界距離

ところで、水平線から見える富士山の距離は236kmだが(ピタゴラスの定理を用いて求められる)、その彼方に高い山があれば、さらに距離を伸ばすことができる(図3)。

距離が長くなると、地球の丸さによる「沈み込み」の影響と、大気密度の違いによる光の屈折(「大気差」)の影響も考えなくてはならない。図2、3はそのことを考慮して、地球の半径を実際より1.156倍大きくして計算している。

この考え方を前提にして、富士山を中心に線を引き測定、計算をしていけば、富士山が見える限界の場所を地図化できる。

■富士山可視マップ

上記の方法により、電卓を使い半年近くかかって1986年に作成したのが、手作りの富士山可視マップであった(図4)。

その後パソコンの普及に伴い、1994年に杉本智彦さんが、この可視マップを簡単に描けるソフトを開発した。その名も「可視マップ」、「見る」に由来する「カシミール3D」である。今やデジタルマップの世界で知らない人はいないほど有名なソフト(2012年、第1回「電子国土賞」受賞)の原型であった。

このソフトは操作性がよく、可視マップも簡単な操作

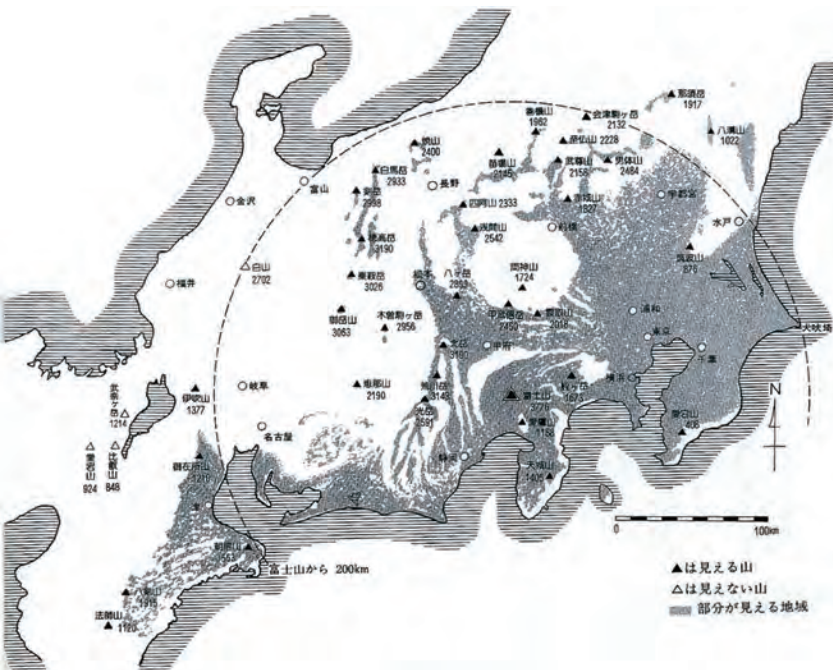


図4 手作りの富士山可視マップ

で作成できる。最遠望地が色川富士見峠ということが確認できたのも、富士山可視マップがあったからである。それがなければ確認に大変な時間がかかったことだろう。

使用する数値地図データも、250mメッシュから、50mメッシュ、そして10mメッシュというようにだんだん

高精度になっていった。そのことにより、粗いデータの時は見えていた場所が、高精度データを使うと見えなくなる、ということもあった。

今後2mメッシュが全国整備されても、最遠望の地が変更になることはないが、個々のポイントでは微妙な変化が生じるかもしれない。

■ 方面別最遠望地点

富士山可視マップ(図5)をもとに、方面別最遠望の地を記すと次の通りである。

北：福島県日山 299km、理論上は福島県花塚山 308km(証拠写真はまだない)。

東：千葉県銚子ポートタワー 198km。

南：東京都八丈島東山 271km。

西(最遠望)：和歌山県色川富士見峠323km。

これが2008年12月に確定したもので、それ以降に出版した小著や小サイトなどでは発表済みである。しかし、冒頭で記したように誤りが多いということは、まだまだこの情報が普及していないということだろう。

山の北側の甲府市や南側の富士市では見ることができない。

地球の公転に伴い、日の出、日の入りの位置は移動する。夏に太陽が最も北に寄った時、冬に太陽が最も南に寄った時に、富士山と結んだ線の中に入る地域でなければならない。具体的には、東側は富士山の東北東（約58度）～南南東（約117度）、西側は西南西（約243度）～西北西（約302度）の範囲ということになる。

夏至～冬至の間で太陽は行き来するので、一般的には年2回チャンスがある。

この範囲を説明する時に私はいつも、「富士山が蝶ネクタイをした時の範囲」と説明しているが、イメージをつかんでいただけるだろうか。

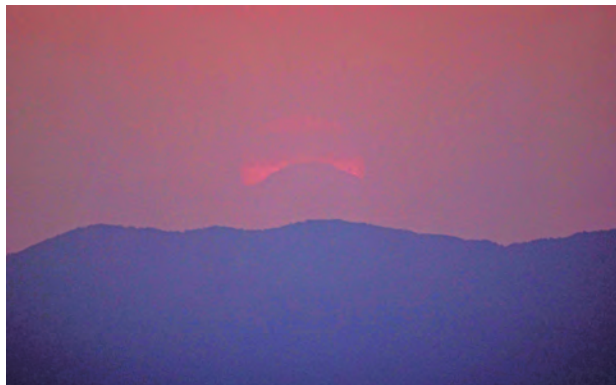


図6 最遠望ダイヤ

図5の可視マップには、その線を引いてある。

富士山の世界遺産認定に刺激されて、最遠望のダイヤモンド富士の撮影に挑戦する人もでてきた。地図で分かるように、最遠望の地は奈良県になる（一般的な展望で最遠望の和歌山県色川富士見峠では、南に寄りすぎてダイヤモンド富士にはならない）。奈良県在住の新林正真さんは、奈良県各地からダイヤモンド富士を撮影しており、2013年6月5日早朝（4時42分）、大峰山仏生ヶ岳からの撮影に成功した。その距離は292kmに達し、理論上もこれが限界である（図6、7）。

この位の長距離になると、富士山頂の幅よりも太陽の方が見かけ上大くなり、富士山を覆うかのようである。

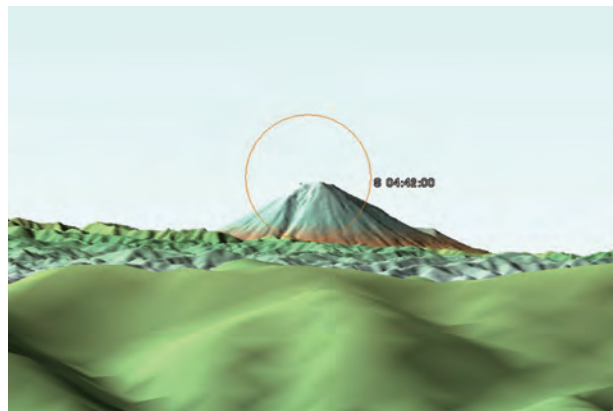


図7 カシ米尔3Dによるシミュレーション

キラリとは光らないが、もちろん、ダイヤモンド富士であることは間違いない(2013年6月21日 NHKニュースウオッチ9で紹介)。

新林さんは撮影ポイントの特定にはカシミール3Dではなく、グーグルアースを使っているのが特徴だ。グーグルアースにはこうした使い道もあるのである。

(ダイヤモンド富士の方面別最遠望の地)

北東:茨城県鉾田市玉田 191km

南東:千葉県南房総市白浜町 113km

北西:御嶽山継子岳(長野県木曾町・岐阜県高山市 128km、証拠写真無し)

南西:奈良県大峰山仏生ヶ岳 292km

■証拠写真が撮影できていないのは京都府だけ

富士山が見える都府県は20に及ぶ。その中で、証拠写真がまだ撮れていないのが京都府である。理論上は、武奈ヶ岳の北西約4.5kmの地点に、京都府が滋賀県に向かって「サイの角のように突き出した」と言われる地点である(京都市左京区久多川井町と滋賀県高島市朽木栃生の境界、261km)。富士山可視マップでかろうじて表示されている。富士山からはほぼ真西の方向になる。

カシミール3Dによるシミュレーションでは、南アルプス南部の山の間、剣ヶ峰が僅かに頭を出しているだ

けであり、肉眼での視認は極めて難しいだろう(図8)。それでも最高峰の剣ヶ峰というのが有り難い。

京都新聞が2012年9月25日に記事にしたのを受け関西テレビが「金曜日の疑問」という番組で、実際に現地に行きチャレンジした様子を放映した(2012年11月16日)。気象条件以前に、木立が多く確認はできなかった。しかしスタッフはリベンジを狙っており、いずれは証拠写真が撮れるかもしれない。

北の理論上の最遠望の花塚山は、地元の愛好家が数十回登り撮影を試みているので、どちらが先になるか楽しみではある。

富士山可視マップをめぐる興味は尽きない。

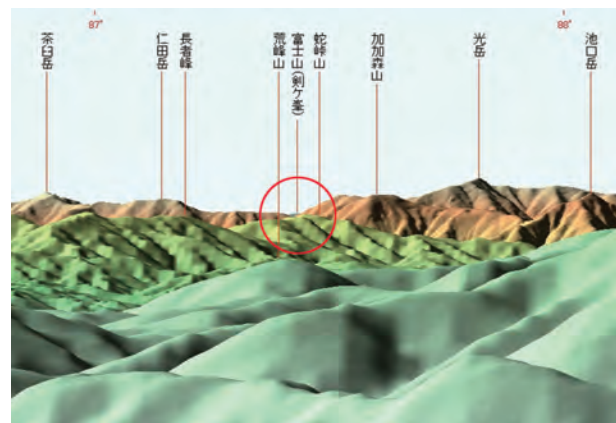


図8 京都からの富士山



富士道中日記に富士講を読む —富士講と人生儀礼を中心に—

東京家政学院大学教授
西海 賢二

富士講とは

近世初頭より、富士の行者によってはじめられ、とくに1733(享保18)年に食行身禄じきぎょうみろくが富士山で入定を行ったことを契機にして、その後、江戸市中を中心に結成された富士信仰を母胎とする講集団のことである。

古代、中世のいわゆる修験者の苦行を重ねる行を中心とした山岳信仰から近世の山岳信仰の形態は大きく様変わりをして、一般俗人が自由に登拝するようになったことで、それが人々に代参講を簇生させる結果ともなった。

日本の山の象徴的存在であった富士山は、いつでも庶民信仰の対象となった。とくに関東農村を中心に富士講の結成をみたのをはじめ、江戸市中では爆発的な講の結成がみられ、小型模型としての富士山である富士塚が多数築かれた。

この富士塚に富士登拝のできない老若男女が多数登拝して、富士登山をしたのと同じ御利益を求められるとされていた。しかし、富士講はとくに江戸中期以降に爆発的な人気を博したものの、江戸幕府より富士講と

いう集団が拡大することを危険とみなされ、1740年以降五回にわたって、富士講の結成が弾圧されることがあった。それでも、富士講は地下に潜伏するなどして身禄行者以後の『三十一日の巻』などに代表される教理が整理されつつ発展し、武蔵国鳩ヶ谷宿(埼玉県鳩ヶ谷市)には小谷三志による不二道が創設された。

不二道の基本精神には男女平等があり、他にやや遅れて創出されていた天理教(奈良県天理市・1838年中山みきによる開教)・金光教(岡山県浅口市金光町・1859年赤沢文治郎による開教)などとは性格を異にしていた。この男女平等の精神的核になったのは、身禄行者の娘ハナを後継者に選出していることなど、女の穢れといった当時の常識を否定した面があったことを見出すことができる。これをもとに明治以後、扶桑教・実任教・丸山教などの神道教派が江戸時代以来の富士講を母胎にしつつ再編成されていった。

しかし、近代の国家神道の名のもと富士講は扶桑教などに半ば軒先を借りるような信仰形態が展開していっ

た。そのため大がかりな祈祷や梵天は姿を消したが、白装束で六根清浄を唱えながらの集団登拝をする姿は今日も伝えられている。また、江戸市中に多くの富士塚が築かれたが近年の宅地造成や道路の開削などの地域開発によって富士塚が消滅する所が多く、文化財の立場からもちつ今回の世界文化遺産に関わる条件の一つである「富士塚」の保護などと絡めた問題が生じている。

それでも、なかにはこの富士塚に毎年のお山開き（7月1日）に講中による集団登拝をする習俗が東京でも数か所で確認されている。

現在、富士登山を行う講は数すくなくなり、月拝みやお焚きあげを行う講は減少の一途を辿っている。また、吉田口（山梨県富士吉田市）・須走（静岡県駿東郡小山町）などの富士登山口で富士講を対象に宿坊（民宿）経営を行っている御師も近年に至って激減している。

富士道中日記に見る人生儀礼

さて、富士講の面々の修行は、毎年、旧暦7月22日より8月2日まで山籠もりをし、3日に駆け越して、東口（須走）に下り東側の麓の各地を巡った。登山道は全行程を十合に分け、一合目ごとに石室（山小屋）を設けていた。登拝習俗は宝冠をかぶり、木綿袈裟に白衣を着て金剛杖を携えるものであった。

近年の道中日記研究は歴史学や地理学からのアプロ

ーチが顕著であり、さらにこれまでの研究の多くは、新城常三氏の『社寺参詣の社会経済史的研究』（塙書房・1964年）に代表される社会経済史的側面からの道中日記の数量的分析や、歴史地理学の小野寺淳氏「伊勢参宮道中日記の分布」（『東洋史論』二、1981年）田中智彦『聖地を巡る人と道』（岩田書院・2004年）らの道中の経路分析を中心になされたものがほとんどであったが、1990年代以降になると、とくに観光地域史を標榜した研究が社会史研究の延長線上で進められるものが多くなり、歴史学から青柳周一氏の『富嶽旅百景—観光地域史の試み—』（角川書店・2002年）や原淳一郎氏の『近世寺社参詣の研究』（思文閣出版・2007年）らの研究があり飛躍的な展開を見せている。

さらに特徴的なのは、参詣経路の復元研究の多くが



図1 御師宅に奉納された富士講中の額

伊勢参宮に集中していることである。なかでも山本光正氏の「旅日記にみる近世の旅について」（『交通史研究』一三・1985年）や桜井邦夫氏の「近世における東北地方からの旅」（『駒澤史学』三四・1986年）などであり、今回紹介する山岳信仰に関連した史料と伝承をめぐる参詣経路の研究は岩鼻通明氏の「道中日記にみる出羽三山参詣の旅」（『歴史地理学』一三九・1987年）や田中智彦氏の前掲書をはじめとして山岳考古学からの時枝務氏の「日記史料と民俗—『大和泉日記』を巡って—」（『民俗と考古の世界』和田文史先生頌寿献文集・二〇〇〇）などが見られるもの、富士山参詣に関連するものはほとんど散見しないので紹介することとする。

以下に紹介する「富士道中小遣覚帳」（写真1）は上野国邑楽郡狸塚村（現・群馬県邑楽郡邑楽町狸塚）の出井家に所蔵されていたものだが、諸般の事情があって現在は筆者が所蔵しているものである。史料には富士山参拝をめぐる上野国から参詣ルートを知るだけでなく、その行間から登拝に関わる興味深い人生儀礼をはじめ参詣道にみられる沿道住民との関わりなども知ることができるものである。

狸塚村は近世期には上州館林藩の支配下にあり、安政2（1855）年当時の村高は583石余の村であった。史料的には近世後期の「富士参詣日記」としては他にも多



写真1 富士道中小遣覚帳（写真右）

くの存在が確認されているが、本史料の最大の特徴は冒頭に「へこ祝」の記載があることから、若者たちの通過儀礼を伴った参詣日記であるということである。

しかし、十代前半と思われる大人とも子どもともつかぬ年齢なのか、あるいは北関東という地域的な問題からか、恐らく人生はじめての上野国・武蔵国・甲斐国・駿河国・相模国しそして江戸という世間を知るための

「 安政二乙卯歳
富士道中小遺覺帳
七月 二日 出井政司 」
縦9.7cm・横24.1cm袋綴(筆者蔵)

- 七月三日 出立
- 一 拾五文 べき祝
 - 一 四拾八文 参銭
 - 一 三拾貳紋 中食尔しめ
 - 一 八文 梅干
 - 一 拾六文 佐川渡シ
舟ちん
 - 一 四文 すみ
 - 一 三十文 砂とう
 - 一 四拾文 利根川渡シ
舟ちん
 - 一 四拾八文 醬中
 - 一 百七拾貳文 新郷柳屋
泊り藤助
- メ四百十五文
- 同四日
- 一 四拾文 新川渡シちん
三ヶ所休
 - 一 六文
 - 一 八文 かんおん札代
 - 一 拾文 かんおんやすみ
 - 同
 - 一 六十八文 松山宿籠や
中食
 - 同
 - 一 七文 御札代
 - 同
 - 一 式十文 とき川
舟せん
 - 同
 - 一 五文 やすみ
 - 同

- 一 式拾四文 だちん
 - 一 百七十式文 高萩亀屋兵七
泊りせん
- メ三百六十八文
- 五日
- 一 十六文 入間川渡シ
舟ちん
 - 同
 - 一 六文 扇町休
 - 同
 - 一 四文 橋せん
 - 同
 - 一 十一文 灰嶋 やすみ
 - 同
 - 一 廿八文 中食
 - 同
 - 一 八文 八玉寺
休
 - 同
 - 同
 - 同
 - 一 廿八文 わらぢ
壺足
 - 同
 - 一 廿四文 小間木の
浦番所
 - 一 十六文 御ちや
休
 - 同
 - 一 十式文 高尾山札
 - 同
 - 一 七拾式文 道普請
番人
 - 同
 - 一 廿四文 玉川渡シ
舟せん

- 同
- 一 廿四文 白砂糖
- 同
- 一 百八十文 小佛峠泊り
武さしや権次郎
- メ五百八文
- 六日
- 一 式十文 二瀬川
舟ちん
- 同 百文 上野原
中食代
- 同
- 一 五十文 道普請
- 同
- 一 六十式文 鶴川
うね越ちん
- 同
- 一 六十式文 鳥沢
休
- 同
- 一 式百十六文 大月宿
丸木屋
久兵衛
- メ 四百八十式文
外 十六文 酒代
- 惣メ 五百式文
- 七日
- 一 上文司様
六十文 小札二十枚
- 一 十式文 大札一枚
- 一 三十六文 たすき
- 一 四十八文 杖一本
- 一 百式十式文 御山役料
- 一 百文 綿入損料
- 一 四十八文 弁当夜飯
- 一 六十四文 餅代
- 一 百文 山案内強力

一 十六文 休茶代
 一 九文 参銭
 一 十二文 長谷寺かへちやう
 一 三十六文 百番観音おい絵代
 一 百文 鎌倉
 中食代
 一 十六文 休
 一 十文 金沢八景
 一 八文 此所山せん茶代
 一 十五文 八枚武州金龍現礼所
 一 式十四文 惣参せん
 一 式百廿四文
 メ七百十文
 程か谷桑屋泊りせん
 一 拾六文 休茶代
 十三日
 一 拾六文 大師川原参せん
 同
 一 四拾八文 大森宿
 中宿
 同
 一 拾六文 品川休
 同
 一 拾式文 高縄
 千学寺
 同
 一 八文 蔵城寺

 参詣
 同
 一 八文 芝神明
 同
 一 八文 あたご山
 同
 一 六十文 墨筆代
 同
 式百文 菓子代
 百文 紙代
 此分喜多屋迄遺物
 メ五百文
 十四日
 一 十五文 浅草
 参せん
 のうきよう代
 一 十六文 さ若町
 芝居
 一 十六文 上野参詣
 一 三文 したのはつ弁天
 一 三文 湯島天
 一 十五文 妻恋稲り
 守参せん
 一 神田明神参詣致
 一 四拾八文 中食代
 一 廿四文 わらち

 壳足
 一 百七十八文 繪紙
 三十六枚
 一 廿四文 休茶代
 一 式百三十式文 千住泊り
 浪花屋
 メ五百八十式文
 十五日
 一 六十文 わらち
 三足
 一 四十八文 中食代
 一 五十式文 栗橋川
 舟ちん
 一 廿六文 休
 一 廿四文 嶋田川
 舟ちん
 メ式百八文
 十三日
 一 七貫七百廿八文
 為金壳両式朱三百四文
 奉納富士参詣
 仕候
 清右衛門
 与右衛門
 泰三良
 政治
 同行四人

「富士登山紀行」であったと思われる。

史的には誤字や当て字が多い。しかし、これが逆に4人の同行衆がこの「富士参詣」を契機にして生涯の契りを結ぶとともに村の一人前として課せられた「修行の旅」であったことを思うと、微笑ましくなる「道中記」である。

誤字(単なる記載間違いか?)の一部を掲げてみよう。

(灰嶋) やすみ … 拜島
 (八玉寺) 休 …… 八王子
 (釜倉) …… 鎌倉
 (高縄千学寺) … 高輪泉岳寺
 (蔵城寺) …… 増上寺
 (新川) …… 荒川

(佐川) …………… 酒匂川
 などである。

上野国から富士への日程についてみると、安政2(1855)年7月3日に狸塚村を出立して同月15日に帰村した、12泊13日の日程であった。これはいうまでもなく富士・大山の山開きをめざしたものである。さらに他の上野国から2か月余の日程で行われた伊勢参宮などに見られたように、1月中下旬に出立して3月の中下旬に戻るものとは明らかに異なるものであった。さらに4人の同行衆が農作業の中心的な大人たちであれば、7月中に半月も家を留守にすることは農作業(とくに田植えなど)の関連から考えられない事で、その点からも若者たちの通過儀礼的な「富士・大山・江戸」の修行を伴う旅(世間を知る)であったと思われる。

参詣ルートとしては上野国を出て坂東太郎と異名をもつ利根川を渡り、松山(現・埼玉県東松山)・とき川(現・埼玉県比企郡都幾川町)・入間川を経て、灰嶋(現・東京都昭島市)・八玉寺(現・東京都八王子市)・高尾山(現・東京都八王子市)・上野原(現・山梨県上野原市)・大月(現・山梨県大月市)・上吉田(現・山梨県富士吉田市)の近世北口(喜多口)最大の御師であった「上文司」に立ち寄り、富士山頂をさわめて須走(現・静岡県駿東郡小山町)の東口に下山して、竹の下和泉屋(現・静岡県駿東郡小山町)に宿泊している。和泉屋さんは近世を通じて、富士講の専門宿として栄えた宿屋であり、その他東海道筋などからの江戸



写真2 富士講のマネキ(富士の導者が室(山小屋)などに奉納したもの)

期の「道中日記」に度々登場している。

その後、大雄山最乗寺(一般に小田原の道了山「尊」として親しまれている曹洞宗寺院)を経て、佐川(酒匂川・小田原)を渡り、この後、同行衆は坂東の札所五番(飯泉山勝福寺・現小田原市飯泉)七番・八番(飯山観音・厚木市・星谷観音-座間市)をめくりつつ、相模国の国御嶽である大山参拝(伊勢原市)を経て、江ノ島(藤沢市)に宿泊している。

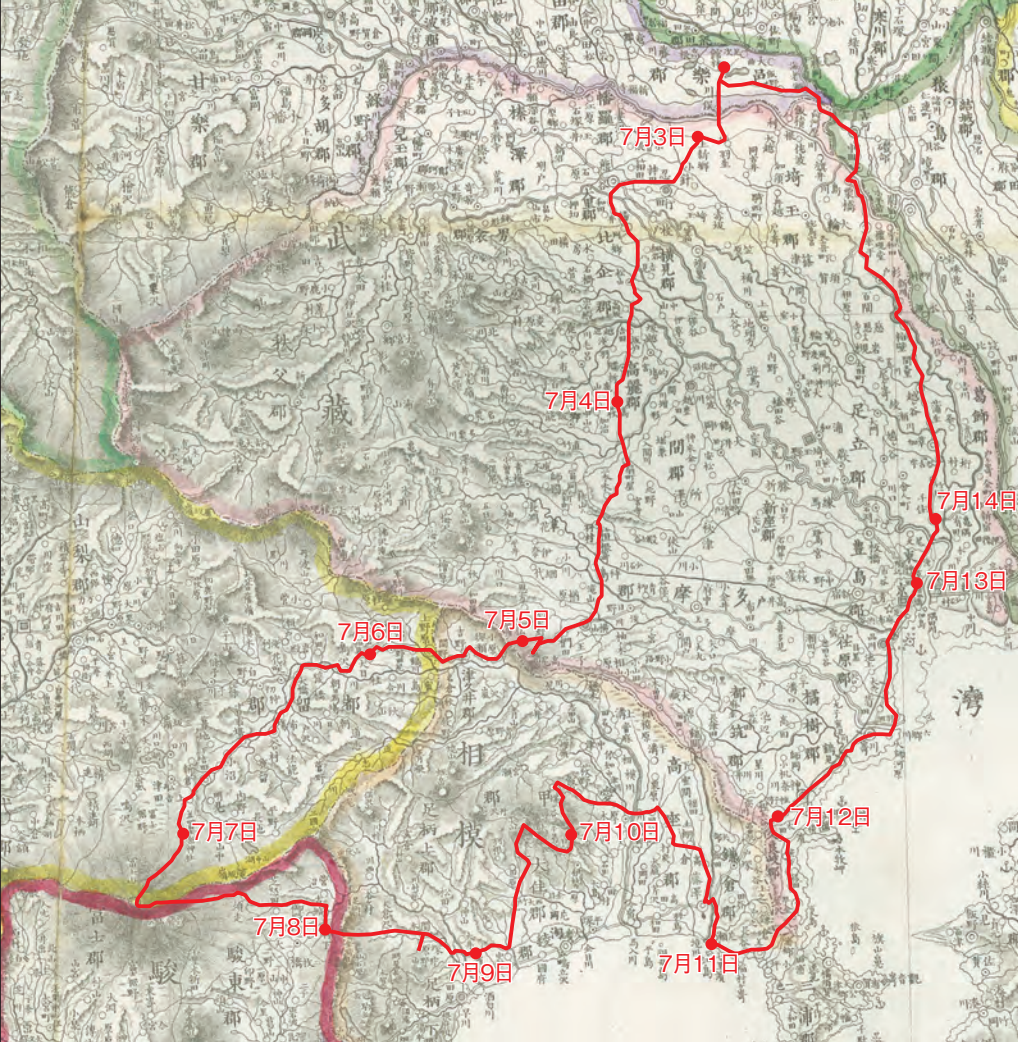
江ノ島から釜倉(鎌倉)周辺の坂東の札所一番杉本寺をはじめとする寺院を巡拝したのち、金沢八景(横浜市金沢区)を経て、程か谷(横浜市保土ヶ谷区)に宿泊、

図2 「富士道中小遣覺帳」に書かれているルートをなぞる（編集部が類推したもの。数字は宿泊日付。地図は大日本國全圖、明治14年2月出版）

次いで川崎大師（川崎市川崎区大師町）をお参りして、江戸に入っている。

江戸では泉岳寺・芝神明社・愛宕山・浅草・上野・湯島・妻恋などの「江戸名所」を訪ね、その間ふるさとへの土産物として「墨」・「筆」・「絵紙」・「御守り」など、比較的荷物にならないものを大量に買い込んでいる。富士登山の最後は千住の宿浪花にとり、翌15日に上野国に戻るというルートであった（図2）

以下に紙幅の関係もあるが富士信仰（富士登山）に関わる記載に注目してコメントを寄せることにする。7月5日にある「一 十式文 高尾山札」とある記述は、単なる高尾山の札を求めた以上に、とくに武蔵国・上野国方面から甲州街道を利用する富士導者たちは、ほとんどが富士登



山をする前に高尾山参拝をしていたことが近世・近代からの文献からも確認されており、かつ現在の拝島・八王子・高尾山周辺では富士の導者から「合力銭」をねだる習俗があったことも、伝承かつ高尾山麓の浅川（八王子市）の石川日記にはその旨が紹介されている。

7月7日にある「一 百文 綿入損料」とは山小屋（近世・近代では室と称している）に宿泊するときの防寒具（どてら）の使用料のことである。どてらには富士講中の山印（笠印）などが染め抜かれ、とくに北口御師のなかでも「上文司」や「大国屋」・「浅間坊」などの傘下にあった「講中」などでは、自前のどてらや、薬缶・夜具などを所有していたこともあった。

同日にある「一 六十四文 餅代」も富士山中で食べる餅代だけでなく、北口の御師集落では一夏に千人以上の宿泊者を受け入れた宿坊では、導者たちを中心に「チン餅」と称される餅が振る舞われたこともあり、この回数が多ければ多いほど導者にとっても地域住民にとっても一喜一憂する儀礼であったのである。そのほかにもこの史料には、多くの民俗事象を裏付けるものが散見しており、文献との相互検証を試みるのが可能となるであろう。それにしても政治（政司）さんを先達役として4人の同行衆は2週間に及ぶ、村の一人前になるための儀礼として富士登山を決行し、その道すがら多くの苦行だけでなく、知見をひろめ、その後の村の成員としての精神を培ったものとして冒頭に

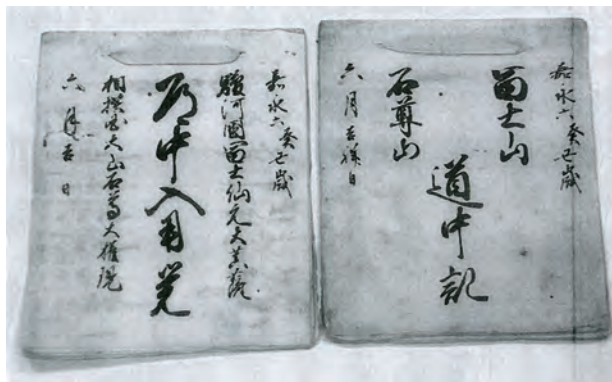


写真3 富士山と大山はセットで登拝するのが近世中期では当たり前であった。片方だけ参るのは「片参り」といって禁忌とされていた。



写真4 静岡県小山町の富士山須走登山道起点にある東口本宮「富士浅間神社」

ある「べき祝」(禪祝)がそれを象徴しているようである。

・写真出典：図2以外は全て『富士・大山信仰』2008年、岩田書院、西海賢二著より



写真5 神奈川県伊勢原市の「大山阿夫利神社」



写真6 富士山北口登山道の山小屋群

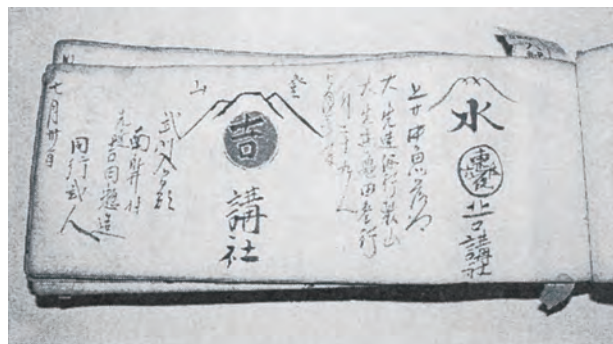


写真7 矢倉沢の富士講専門宿に残る明治初年の宿帳(南足柄市矢倉沢杉山家蔵)



写真8 富士吉田の御師宅に奉納された講中の盆

富士塚 ～転写された富士山の霊性～

美術家／富士塚愛好家
有坂 蓉子

富士山が世界文化遺産に登録された直後、ネットの書き込みに、よく目にした眩きがあった。

「東京の富士塚も、構成資産に入れればいいのに」
当然ながら、若い層による。

決してメジャーな信仰物とは言えない富士塚を、多くの若者が知っていたことに驚きつつ、富士塚を「身近な信仰の証」として、彼らが日常のどこかで受けとめていたことに、「富士山愛の裾の広さ」を感じた。

ランドマークとなった聖地

富士塚とは、富士山信仰を元に造られたミニチュアの模造富士である。富士山のボク石（溶岩）を貼りつけた築山（時には古墳や自然地形を利用）に、富士山の神様を勧請し、登拝できるよう登山道をつけ、名所や信仰物を設えたものである。

高さは2、3メートルから十数メートル以上。見た目はゴツゴツした武骨なものが多い。（写真1）

ミニチュアではあるものの、江戸時代から「これに登れば富士山に登ったのと同じ御利益がある」と言われてきた。



写真1 東京都江東区南砂、富賀岡八幡宮の「砂町富士」。
美しい山容が特徴。登山道のほか、宝永山や大澤崩れ、御胎内なども再現されている

理由は明解。「ボク石は富士山から運んで来たものだから、その上に乗る（踏む）ことは、富士登山と同義」



図1 都心を中心に、西は練馬区から東は浦安市にかけて現存する富士塚の分布図。(イラスト/有坂蓉子)

というわけだ。この理念と合理性、マニ車や後生車に通じないだろうか。さすが、江戸庶民はセンスがよい。

富士講による富士塚第一号は、戸塚村（現・東京都新宿区西早稲田1丁目）に造られた高田富士。庭師であり富士講の先達だった高田藤四郎が、食行身禄を敬って「富士のうつし」とした。

彼は、自らの造園技術を駆使し、地元の墳丘を利用して富士塚を完成させたのだ。身禄の没後46年、安永8

(1779)年のことである。

同年、^{あげらんこう}朱楽管江が^{たいていごらん}『大抵御覽』の中でこう記す。

「……かたはらの山をきりたいらげ、その土を以つて新規に山のかたちをきづく。……土持ちしてだんだんつもる一^き簣の功、終に九^{きゅうじん}仞の山となれり。山は八^{はちようほう}葉洞のごとし、^{するが}駿河の富士に正写し、山をなづけて^{さいふよう}賽芙蓉といふ。……」

高田富士が注目されると、これを雛形とした富士塚が次々と造られていった。



図2 『江戸自慢三十六興「鉄砲洲いなり富士詣」』に描かれた「鉄砲洲富士」（東京都中央区湊）。歌川広重（二代目）／歌川豊国（三代目）



図3 『見立十二辰「深川八幡富士」』揚洲周延画。現在は江東区富岡の富岡八幡宮にある。辰己芸者が持つのは、山開きの縁起物「麦藁蛇」

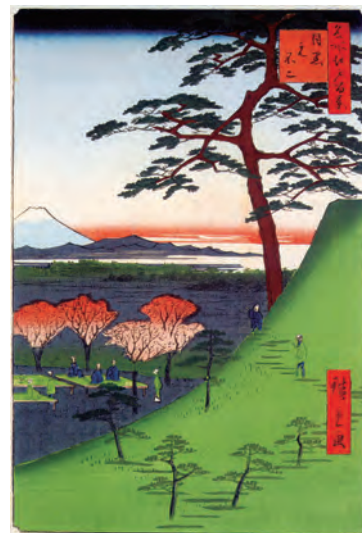


図4 『名所江戸百景「目黒元不二」』歌川広重画。現在の目黒区上目黒の目切坂上にあった

「江戸八百八講」と言われたほど、隆盛をきわめた富士講である。全ての講が富士塚を造ったわけではないが、かなりの数ができたという。昭和10年頃まで造られ続け、現存する数も、東京全域で約70、関東一円では300以上あると言われている。(図1)

有名なものはランドマークになり、浮世絵の美人画(図2、図3)や「名所江戸百景」(図4、図5)、また、当時のガイドブックにあたる「江戸名所図会」にも数多く登場する(図6、図7)。刷り物に残されているということ

は、一般庶民に広く浸透していたことにほかならない。

富士詣(富士登山)は、庶民のあこがれではあったが、誰もが容易にできるものではなかった時代である。富士講に入っている、選ばれた人しか富士山に行けず、弱者である年寄りや子供、2合目以上の入山を禁じられていた女性にとっては夢の話だ。地元の富士山(=富士塚)に登っただけで御利益が得られるとしたら、これほど有り難いものはなかっただろう。

今でも、「浅草のお富士さん」、「駒込のお富士さん」、



図5 『名所江戸百景「目黒新富士」』
歌川広重画。現在の目黒区中目黒
の別所坂上にあった



図6 『江戸名所図会「高田富士」』長
谷川雪旦画。新宿区西早稲の水
稲荷神社にある



図7 『江戸名所図会「音羽富士」』
長谷川雪旦画。文京区大塚の護
国寺にある



写真2 東京都台東区下谷、小野照崎神社の「下谷坂本富士」(国指定有形民俗文化財)のお山開きの様子。登拝できるのは、6月30日と7月1日のみ

「十条のお富士さん」などと呼ばれ、お山開きの祭りも盛大に受け継がれている。(写真2)

富士山信仰は、行者たちのストイックな修行だけでなく、庶民の招福への熱望があつてのこと。宗教とは違い、身近な信仰心だからこそ、そのメンタリティーが受け継がれ、現代人の「富士山好き」に繋がっているのだろう。

古地図から衛星写真まで

ここでは、過去に富士塚がどのように庶民の間で親しまれてきたか、また、今はどんな風に見ることができ

るのか、いくつかの地図や画像を使って紹介したい。

まず、江戸時代の「江戸切絵図」。

江戸切絵図とは、地域別に描いた区分絵図で、大名屋敷や神社仏閣、周辺の集落、田畑、街道などが描き込まれた携帯マップである。

版元によって、正確な地図機能を持つものもあれば、イメージ先行でデフォルメされたものもあり、そのバリエーションはさまざまだ。



図8 『牛込市谷大久保繪圖』より「高田富士」

古い順に、吉文字屋（宝暦5年／1755年創業）、近江屋（弘化3年／1846年創業）、尾張屋（嘉永2年／1849年創業）、平野屋（嘉永5年／1852年創業）の4版元がある。その中で、富士塚が顕著な姿で描かれているのが尾張屋による切絵図である。

尾張屋版（木版画なので正確には「尾張屋板」）の特徴は、他店に比べ、実にカラフル。道や橋が黄色、川や池など水地は青、神社仏閣が赤、山林・土手・馬場・緑園が



図9 『牛込市谷大久保繪圖』より「東大久保富士」

緑、町家が灰色、そして武家地は白（無色）、と表記がわかりやすく、墨色を加えて6色の多色刷りである。色彩豊かな紙面を見れば、土産物になるほど人気を博した理由も納得であるが、仔細な描画にも注目したい。

富士塚は、「牛込市谷大久保繪圖」には水稻荷社の「高田富士」（図8）と西向天神社の「東大久保富士」（図9）、「東都駒込邊繪圖」には白山権現（現・白山神社）の「白山富士」（図10）と駒込富士神社の「駒込富士」、「内藤新宿千駄ヶ谷邊圖」には八幡宮（現・鳩森八



図10 『東都駒込邊繪圖』より「白山富士」

幡神社)の「千駄ヶ谷富士」(図11)が描かれている。

もちろん、切絵図に登場するのは刊行当時あったものに限られるが、上に挙げた5富士すべて現存するのが驚きである。(高田富士のみ神社ごと位置を変えた)

面白いのはその描写だ。富士塚というより、富士山として描かれている点である。三峰になった姿にアイコン性がある。作り手にも受け手にも、「地元の富士山」という意識があったということだろう。



図11 『内藤新宿千駄ヶ谷邊圖』より「千駄ヶ谷富士」

時代は飛んで、昭和初期の鳥瞰図。

鳥瞰図絵師・松井天山が、千葉県各地の記録を残している(生涯に描いた63枚のうち半数が千葉)。『近代日本の視覚的経験』ナカニシヤ出版 中西僚太郎・関戸明子編 より

昭和6年に描かれた、浦安の鳥瞰図がよい。町に現存する3つの富士塚のうち、2つがさりげなく描かれている。今もある、豊受神社の「猫実富士」と、清瀧神社の「堀江富士」である(図12)。

富士塚の明記もなく、切絵図のようなシャレた絵でもない。見過ごしてしまいそうな地味さだが、それなりに

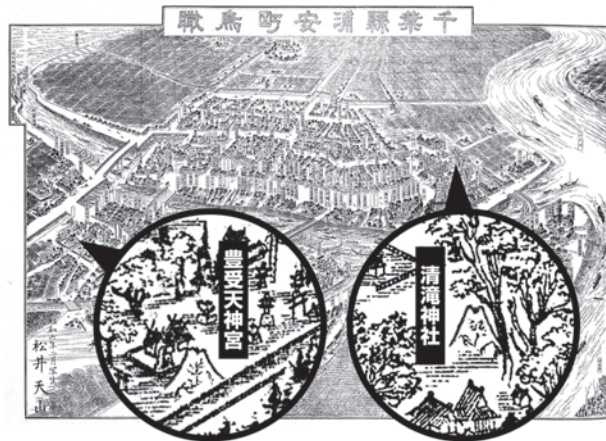


図12 『千葉県浦安町鳥瞰』に描かれた、豊受天神宮(豊受神社)の「猫実富士」と清瀧(清瀧)神社の「堀江富士」

味がある。富士塚の位置もすこぶる正確だ。天山自ら足を運んでいなければ、描けなかった証拠である。

富士塚は千葉県に相当数ある（東京の2～3倍）。千葉県の鳥瞰図を多く手がけた天山が、心を込めて描写したおかげで、浦安以外にも船橋や松戸の鳥瞰図に富士塚を見つけることができる。地形の表現だけなのでわかりづらいが、その分宝探し感覚が味わえるだろう。

さて、現代。ネット上で見られる富士塚をいくつか挙げてみる。



図13 横須賀市の富士山、「三浦富士」（ウオッチーズより）

自然地形を生かした巨大なタイプ（さすがに都心にはなく、近隣県に存在する）が顕著である。等高線がはっきりしている「ウォッチーズ」がよい。地図上に「富士山」「浅間山」と記されていたら、富士塚の可能性が高い。

神奈川県横須賀市にある「三浦富士」（図13）は、標高183.1m。3本の登山道（吉田口、須走口、富士宮口）と中道



図14 足利市の浅間山、「足利富士」（ウオッチーズより）

も設置されている。奥宮が祀られている山頂では、毎年7月8日、富士講の先達によるお焚き上げが執り行なわれる。

栃木県足利市の「足利富士」(図14)も、108.7mと巨大である。東武伊勢崎線の線路が分断しているが、渡良瀬橋のたもとにある「女浅間(下の宮)」(鳥居の表記あり)と、南側の大きな「男浅間(上の宮)」を合わせて足利富士だ。毎年6月1日に「初山」(生まれたばかりの赤子や幼子が初登拝する習わし)で賑わう。

三浦富士も足利富士も、地元の富士山として、今でも人々にとって欠かせない存在となっている。もちろん、山頂からは本物の富士山が拝める。富士塚は、「富士山の遥拝所」という使命も担っているのだ。

Googleは、地図より写真がよい。上空からの画像は、木々など覆うものさえなければ、小さな塚までよくわかる。地図上では神社の表記すらないものでも、画像で富士塚を発見すると感動的である。

円錐型の「池辺富士」(写真3)と、「川和富士」(写真4)は、神奈川県都筑区にある。真上からの画像で、横浜の富士塚の特徴、螺旋の登山道がよくわかる。

一方、東京都練馬区の「大泉富士」は、斜め45度で見るのがよい(写真5)。この富士塚のように傾斜面に造られたタイプは、前面に集中して造作が施されるため、山容を把握するにはこの角度が好都合だからだ。ジグザグ道がはっきりと確認できる。



写真3 横浜市都筑区の「池^{いこのべ}辺富士」。畑の中に立つ



写真4 横浜市都筑区の「川和富士」。川和富士公園内の巨大な富士塚



写真5 東京都練馬区の「大泉富士」。八坂神社境内にある

立体古地図は、机上の富士塚

最後に、富士塚の地図ではないのだが、付け加えたものがある。富士山の立体古地図だ。

天保9年／1838年、山梨県で制作された「富士山真図」(写真6)がある。紙面を貼り合わせて円錐形に仕上げたものだ。高さ75cm／底径180cmという大きなもので、内側から16本の細竹をあてがい、和傘のように折り畳めるようになっている。描写は手書きの彩色、すべての施設に名称が記され、解説文も少ない。

これに酷似したものは、静岡県富士市立博物館に所蔵されている(写真7)。制作年は不明だが、上記のものより厚い紙質(洋紙の可能性もある)で、若干後年のものと思われる。同じように手書きの彩色ではあるが、登山道や神社などの描き込みは少ない。村山口(南口)のみ詳細に描かれていることから、関西からやって来る登山者のために制作されたものと考えられている。

姿は似ているが、上のふたつと違う性格のものがある。作りは上のふたつに近いが、一点もの手書きでなく、版画つまり刷り物だということである(写真8)。

多数刷られる必要があったということは、同じ目的を持った人達、すなわち富士講のために作られたのではなかろうか。彼らに配布するための、明確な立体案内図と思われる。高さ49.5cm／底径100cm、江戸後期制作。

そして、この類いの最高傑作は、五雲亭貞秀(文化4



写真6 『富士山真図』 富士吉田市歴史民俗博物館、個人蔵



写真7 『富士山立体絵図』 富士市立博物館蔵。山頂に方角が書かれている

富士山に5～6回登った（この経験が後の鳥瞰図や国絵図に影響を与えたと言われている）という貞秀の描写は、至極精巧である。計算によると、富士山の600～700m上空から見たとおりの正確さだという。「空飛ぶ絵師」と呼ばれる所以である（写真9-1）。

それだけではない。遊び心のこもった細工がある。

下の白い三角部分には、角行藤佛と食行身禄、行者



写真8 『富士山図』信州大学附属図書館中央図書館蔵。紙を裏打ちし強度を増してある

年／1807年～明治12年／1879年頃）による「富士山真景全図」（神奈川県立歴史博物館蔵）である。

複数の画号を持つ彼は、浮世絵師としての名を五雲亭貞秀・歌川貞秀・玉欄亭貞秀、地図絵師としては橋本玉欄齋と使い分けた（本名は橋本兼次郎）。

富士山を題材にした作品群の中で、「大日本富士山絶頂之図」が最も知られているが、トリッキーな「富士山真景全図」にこそ彼らしさが出ている。制作年は嘉永初期の1848年頃。91.4×95.4cmの大きさだ。



写真9-1 五雲亭貞秀による『富士山真景全図』。神奈川県立歴史博物館蔵。約半分サイズのレプリカが、ミュージアムショップで購入可

たちの着衣の解説、さらに吉田の祭りの大松明まで描かれているのだが、この部分を内側に折り込めば、円錐状の富士山ができあがる。貼り合わせ部分を大澤崩れにあてているところも心憎い(写真9-2)。

そして、火口の丸い部分(食行身祿の歌が書かれてある)のふちに、貼付された紙が折り畳まれている。それを引っ張ると立体的に立ち上がり、山頂の峰々ができあがるというわけだ。

極めつけは、左側山麓の船津胎内である。四角い紙が貼ってあり、それをめくると胎内の様子が現れる。この部分のみ、「土中胎内之圖」という一色刷りの絵で、橋本玉欄斎の名義である。緻密な描写で、胎内巡りをする人々が面白い(写真9-3)。

このように、「立版古^{たてばんこ}」に仕立てた「富士山真景全図」は、地図機能を備えた頒布物と言える(これも富士講信徒に配られた可能性がある)が、粋な仕掛けと発想は、富士山信仰を熟知した貞秀ならではもの。彼の中のふたりの絵師が、合作した逸品と言えるだろう。

前出の立体古地図も含め、これらはある意味富士塚だ。地図や案内図にまで3D感覚を持ち込んだのは、富士山をリアルに感じたい、富士山の姿を投影したい、という信仰心があったること。土やボク石を使わなくても、その円錐型の地図は、富士塚のように富士山の写しである。きっと霊性も秘めているに違いない。



写真9-2
立体にしたところ。レプリカのため、山頂の立ち上がり部分は平らにしてあるが、実物は峰々が立つ仕組みになっている



写真9-3 富士塚にも再現される御胎内(船津胎内)を、仕掛けを使って表現している。紙をめくると「土中胎内之圖」が現れる

富士見十三州輿地全図と浮世絵の富士

公益財団法人平木浮世絵財団 学芸員
森山 悦乃

富士山は、平成25年6月22日、関連する文化財群とともに「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」の名で世界文化遺産に登録された。

数ある評価基準の内、富士山に適用されたのは次の二つである。

評価基準iii：現存するか消滅しているかにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在（少なくとも希有な存在）である。

評価基準vi：顕著な普遍的意義を有する出来事（行事）、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある。

このうち、評価基準iiiは登録名の「信仰の対象」を示し、富士信仰を表わす。評価基準viについては、同じく登録名の「芸術の源泉」を指している。

芸術の源泉と聞くと、誰もが葛飾北斎の「富嶽三十六景 凱風快晴」（図1）をはじめとする浮世絵を思い浮かべるであろう。古くから文学や絵画に取り上げられてきた富士山であるが、浮世絵ほど富士山を描い

たものではなく、この度の世界文化遺産登録にも、浮世絵が創り上げた富士山のイメージが世界中の人々に受け入れられ、大きく貢献したものと思っている。

浮世絵の富士山について

江戸の人々にとって富士山は日々の暮らしの中で眺め、親しんだ特別な山で、江戸の一部とさえ感じていた。浮

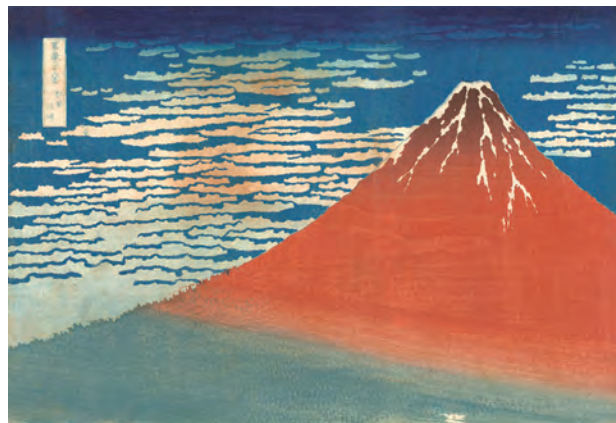


図1 富嶽三十六景「凱風快晴」(公益財団法人平木浮世絵財団蔵)



図2 富嶽三十六景「五百らかん寺さゞあどう」
(山口県立萩美術館・浦上記念館蔵)

世絵では、江戸の中心で、五街道の起点となる日本橋を、江戸城と富士山と一緒に描く定型があった。魚市の繁栄により日本橋は経済の中心、江戸城は政治の中心、それに名峰富士と、日本一が三つも揃う風景は、江戸っ子の自慢だったのである。

「富嶽三十六景 五百らかん寺さゞあどう」(図2)を見ると、遮るもののない三階の高楼から富士を眺める人々の姿がある。軒の垂木、床板の線の延長上に富士があり、絵を鑑賞する我々の視線も自然に富士に導かれるという北斎の巧みな構図が際立つが、一人一人の後姿から感じられるのは、日本人が皆富士を好きだという思いである。

葛飾北斎の「富嶽三十六景」は、天保2(1831)年から4(1833)年に制作された。版元は西村屋与八。題名のとおり、36図の揃物として企画されたが、好評であったため10図が加えられた。富士をテーマとしたこと、舶来のベロ藍を用いるという新奇さが受けた。富士信仰の隆盛が背景にあったとも言われている。北斎はこれに飽き足らず、『富嶽百景』という三冊の絵本に富士探求を続けた。

北斎と共に風景画の大成者と称される歌川広重は、「東海道の広重」として活躍し、北斎を意識してか、晩年まで富士をテーマとした揃物を制作しなかった。

北斎の風景画も広重の風景画も共に印象派の画家たちに影響を及ぼし、西洋で愛されたことはよく知られており、ここに触れるまでもないだろう。

「富士見十三州輿地全図」について

北斎の「富嶽三十六景」から約十年後、「富士見十三州輿地全図」は天保14(1843)年に出版された。十三州とは、相模・武蔵・上総・下総・安房・上野・下野・常陸の関八州と、伊豆・駿河・遠江・甲斐・信濃の五ヶ国である。

縦約150cm、横約175cmとかなり大きい地図は、精緻な描写、多色摺りの丁寧な彩色が美しい。「富士見」というネーミングもよかったため売れたらしく、現在、博物館や図書館などに多数所蔵されている。記載や色彩の異



図3 富士見十三州輿地全圖
(富士市立博物館蔵)

なるものがあることから、版を重ねたと考えられる。今回は直接調査する機会がなかったが、版の違いを比較検討してみる必要はあるだろう。ここに掲載された図(図3)は富士市立博物館所蔵で、これを基準に述べて行く。

まず、出版年については、船越守愚の撰が「天保壬寅季春」、つまり天保13年の春となっているが、儒者船橋晴潭の記述には「天保癸卯春王月」とあるので、天保14年を採る。

版元は、左下欄外にある衆星堂である。当初の版元は衆星堂であったが、ベルリン国立図書館(Staatsbibliothek zu Berlin)に収蔵されている袋には藍色で、表に「知新堂藏梓」、裏に「神田旅籠町壺丁目 東都書肆 紙屋徳八求板」とあり、版株の譲渡が認められる。地図は袋に入れて販売されていたが、残ることは少なく貴重である。

地図の左上には船越守愚の撰文がある。船越の名は清蔵、守愚は諱。長門出身の陽明学者で、諸国を視察、遊歴した経歴を持ち、本文を寄せるに相応しい人物であろう。

本邦輿地之圖。其起蓋在中古矣。然皆 官撰。獨藏諸祕府。而無傳於人間。元和偃武之後。文運大啓。於是乎有赤水翁者而出焉。實始唱此學。其人兼知天

文。履筮徒步而遊天下。十有餘年矣。歸而作之圖。故煥乎可觀焉。繼而作之者。既無其誠。勤亦不至。徒取古人成圖。少易之面目。以求售於世。宜哉今之圖莫若赤水氏者也。夫翁之所為者難。而因之。則易成功。然難者能成。而易者不能成。是其故何也。由其誠之與不誠。勤之與不勤也。秋山墨仙好地理遠遊。足跡之所及。眼目之所觸。圖而寫之。問而質之。不窮不置也。頃寄其所撰望嶽十三州之圖而徵言。余謂方今 仁治成于上。民庶樂于下。皞々熙々。事其事。而以餘力樂夫勝覽弔古之樂。亦 盛世文化之所波及也。東州遊觀之壯。以富嶽為第一。此圖蓋為遊者設。故特標而出之。順次縷舉凡十三州矣。業既為遊者。故舉郡舉村。舉山與水。亦詳道路之所係。其精覈巧密。遠出於先賢之上。若夫經度之差。潮汐之辨。則天文地志之所職。無所用於茲。不必載也。嗚呼令觀者目證心契。不待導者。舉趾於遊程者。豈非斯圖乎。

天保壬寅季春 長門 船越守愚撰

(「船越守愚」・「豊浦山人」印)

(大意)わが国の地図の起源は中古の頃であり、皆官撰で、一般には伝わらなかった。しかし、大坂夏の陣以後平和な世となって、学問が盛んになり、赤水翁が登場した。赤水翁は天文の知識があり、全国を歩くこと十余年の後作図を行い、それは非常に素晴らしいものであ

た。後に続く者は翁にあった誠も勤勉もなく、徒に古人のなす図を取るのみで面目もない。秋山墨仙は地理を好み、足の及ぶところ、目に触れるところを写し、望嶽十三州之図を撰した。庶民の楽しむところと成り、東国を遊覧する者にとって富嶽が第一である。この地図はまさしく彼らの為に作られ、十三の国を挙げている。郡や村を挙げ、山や川を挙げ、道路の繋がりや詳らかにして、精密である。先人の図のように経度の差、潮汐の差という天文地誌の専門的なことは載せていないが、見る者には信頼性のあるものに見えて、案内人を待たずに旅人が続々と旅に出る。今までこんな地図があったらどうか。

文中の「赤水翁」は、常陸国出身の地理学者長久保赤水(1717~1801)である。安永8年(1779)に日本で初めて経緯度線が入った「改正日本輿地路程全圖」を作成したことで知られる。その40年後の伊能忠敬の地図は正確さでは勝るが、一般には赤水図が普及し、明治まで用いられたという。船越は墨仙の地図を、その赤水図を継ぐ精緻さと賞賛している。

秋山墨仙については、寡聞にして知らないが、墨仙自身による漢文が凡例の後に続けられているので、見ておきたい。

余少好地理。故又喜遊。苟有河海遊必

有河海圖。周流既久。積而成堆。歸則補折繕寫。然以有限之力。求無窮之觀。其勢必有不可給也。故見其方鄉之人。必以質之。而其言之也。有精粗。故屢成屢毀。自不知其勞也。且余寧失之於煩。莫遺之於簡。失之於密。莫遺之於疏。故力勞而功晚。往年嘗作關左之圖。既而失其稿。於是乎再發憤。忘寢食而從事於茲。復十餘年矣。今試刻望嶽十三州之圖。以贈同志。而請博雅之補正。夫望嶽者何。望富嶽也。凡河海遊必十三州皆可。以望嶽故名焉。

清光菴山興映校(興映之印)

江戸 秋山永年墨仙誌(「秋山」「永年之印」印)

(大意) 幼少より地理を好み、遊歴を喜んだ。遊歴すれば必ず写し、周遊は長きにわたり、帰ってからは写生を補った。しかし、力には限りがあり、見るところは無限にある。そのため、地元の人に必ず聞いて確かめるが精粗がある。密すぎるほうが、荒いよりはよいと考えたので時間がかかった。昔関東の図を作ったが、既にその稿を失い、再び発奮し、寝食を忘れて従事すること十余年。今試みに望嶽十三州之図を刻し、同好の士に贈る。広く学問に通じた人の補正を請う。望嶽とは何か

という、富嶽を望むことである。本図に載せる十三州は皆、富嶽を望むことができる。故に名づく。

「富士見十三州」とは、昔作った「関左之図」つまり関東地域の地図を再び十余年の歳月をかけて完成させたもので、十三州からは富士が見えるということで名付けられたのであった。富士が実際に見えるかどうかなどの精緻な調査を行ったというものではない。

尚、「清光葦山輿映校（輿映之印）」とある図は少なく、左下欄外の版元名「衆星堂蔵梓」の右に「加藤定吉刀」と彫師の名がある本図の版が早いと認められる。「加藤定吉刀」のないもの、また、左下欄外に「木邨（村）嘉平刻」と入ったものがあり、再刻された可能性もあるかもしれない。

凡例で言うところは、國名、郡名、城下、陳屋、驛市、村名、新田、支村、支新田は四角や丸枠で囲み、國境、郡境、道路は線で表わす。記号で示したのは、古城、古戦場、関所、神祠、佛宇、名勝舊迹、温泉、臺場、廻船見當常燈明である。

「富士見十三州輿地全図」の中の富士

「富士見十三州輿地全図」の中で、富士の描き方は、他の山々とは明らかに違っている。真上から眺めた姿は、



図4 富士見十三州輿地全図（富士山部分、富士市立博物館蔵）

頂上から麓に放射状に伸びる線が円錐形の富士の高さを感じさせる効果を生んでいる。麓の山々は富士を囲むようにしており、四方八方からその姿を眺められることを表わしている（図4）。

この特別な描き方が秋山墨仙の工夫によるものかどうかは不明である。というのは、「富士山古図」と仮題される地図（信州大学近世日本山岳関係データ

ベース、<http://moaej.shinshu-u.ac.jp/view/tosho.php?id=0025365198> が同様の描き方をしているからで、富士講中の登山者のために詳細を記したこの古図は、刊行年の記載がないため断定はできないが、「富士見十三州輿地全図」より成立が早く、参考とされた可能性がある。

登山ルートとして、村山からのルート、上吉田からのルート、須走からのルートが頂上を目指して、頂上を表わす「富士山絶頂」の文字を中心に、放射状に峰の名前などが記される。

「観音ヶ嶽ヨリ相模国江ノ嶋卯ノ二分ニ見ル 伊豆国天城山巳ノ五分ニ見ル」

「劔ヶ峯ハ絶頂上ノ高峯ニ而凡四拾丈余有之 劔ヶ峯内道ヲ不知親不知子ト云」

「八合目ヨリ上ニ雷鳴コトナシ 此雷ヶ嶽ヨリ鳴出ル時八国中大雷トシルベシ」

「釈迦割石ヨリ身延山西ノ五分ニ見ル 信濃国諏訪湖水戌ノ亥ニ見ル」

「大行者ヨリ中宮迄十七ヶ所石室有」

石室は登山者が風雨を避けたり、休息したりした洞穴で、「富嶽三十六景 諸人登山」に大勢が身を寄せる様子を見ることができる。

常陸国	常州牛堀	駿河国	身延川裏不二
下総国	登戸浦		諸人登山
上総国	上總ノ海路		駿州大野新田
武蔵国	東海道程ヶ谷		東海道江尻
	武州玉川		田子の浦略圖
	神奈川冲浪裏		凱風快晴
相模国	相州梅澤在		山下白雨
	相州七里濱		駿州江尻
	相州江の島		駿州片倉
	相州仲原		茶園ノ不二
	相州箱根湖水	遠江国	東海道
甲斐国	甲州犬目峠		金谷ノ不二
	甲州伊沢暁		遠江山中
	甲州三坂水面	信濃国	信州諏訪湖
	甲州三島越	三河国	東海道吉田
	甲州石班澤	尾張国	尾州不二見原

「富士見十三州輿地全図」と「富嶽三十六景」

起伏に富んだ地形の日本の国土は、小さくとも富士を眺めることの出来る地と、近くであっても眺めることの出来ない地を生み出した。遮るもののない海上を通してだと、はるか遠く伊勢の二見が浦からも眺望できるという。北斎が「富嶽三十六景」で、江戸以外で撰んだ諸国の富士の見える場所は、次の題名のとおりである。

江戸は武蔵の国ではあるが、浮世絵が江戸の名産であった故に最も数が多く、次いで甲斐と駿河が多いのは富士の立地からである。信濃と三河と尾張は、「富士見十三州輿地全図」には入っていない。

「富嶽三十六景」で伊豆国を描いていないのは、幕府領であったことが関係するのであろうか。「富士見十三州輿地全図」でも、伊豆半島沿岸を詳しく描いたけれども、幕府直轄の伊豆七島は航海の許可を得られなかった、と船橋晴潭が書いているように、何らかの制限があったのだろう。

「富士見十三州輿地全図」に「富嶽三十六景」の風景を見てみよう。

「相州江の嶋」（図5）は、江戸の人々にとって、箱根の関所を越えないで気軽に出かけられた行楽地であった。「富士見十三州輿地全図」にも、岩本院、岩屋、弁天と見どころが記されている。稲村ヶ崎から江ノ島を眺めると、西に富士があり、陸側と江ノ島の間に見ることができる。距離は約70キロ。

東海道を行くと、沼津、原、吉原と宿場が続いて、富士に接近することが「富士見十三州輿地全図」からよく分かる。原のあたりで、旅人は最も雄大な富士の姿を目の当たりにし、「凱風快晴」は地名こそ書かれていないが、均整のとれた山の形、山肌を赤く染める気象条件などからして原からの眺望と言われている。「凱風快晴」の晴れに対して、夕立の景を描いた「山下白雨」も、ほぼ同じ場所となる。広重も「東海道五拾三次 原 朝之富士」で絵の枠をはみ出す勢いで高く美しい峰を描き、旅人の感動を表現した。



図5 富嶽三十六景「相州江の嶋」
（山口県立萩美術館・浦上記念館蔵）

北斎はすべての地を訪ねて風景を写した訳ではない。他の浮世絵師も皆そうであったように、版本の挿図等を参考にし、風景を創り上げたのであった。「富士見十三州輿地全図」のような地図も想像の役に立ったことは、十分に考えられることである。

「富士見十三州輿地全図」が企画されたのは天保14年の出版の十余年前というので、「富嶽三十六景」の刊行時となる可能性があり、その好評が背景にあったことも全く無くはない。そうでなくとも、江戸の人々は、「富士見十三州輿地全図」を見て、北斎の風景を探したことであろう。現代の人々にとっても、理解に役立つ楽しい地図である。

富士山頂お鉢の絵図と山名

首都大学東京・専修大学非常勤講師
藤本 一美

巻頭言

目次

特集

地図楽

文献紹介

資料室

はじめに

このところは、韓国最高峰の漢拏山(済州島・1950m)や台湾最高峰の玉山(旧称新高山・3952m)に登頂しているが、私が日本最高峰の富士山(3776m)に初めて単独で登ったのは、1975(昭和50)年7月24～25日にかけてのことだった。まだ27歳と若かった。

赤茶けた溶岩砂を一步一步踏みしめながら、月明かりの中を登る登山者の列は何か幻想的でさえあった。しかし、夜通し登り続けたための疲労と寒さに、空気の薄さが加わってか、軽く頭痛がする。雲海のかなたの御来光をみてホッとしたのか、朝の陽を一杯に受けながら富士山頂お鉢の一角の久須志岳で2時間ほどとうとうと眠りこけてしまったのである。

その後、小内院を経て剣ヶ峰の最高峰へ。そして浅間神社奥宮参拝をしたり、頂上臨時郵便局に立ち寄りたりしたことを思い出す。今でいう「弾丸登山」に近いもので、若気の至りかもしれない。しかし、当時は問題になる登山スタイルではなかったように思っている。

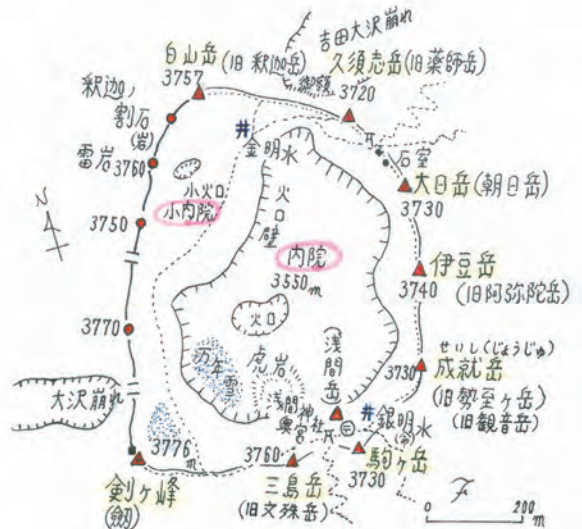


図1 富士山頂お鉢の山名

1984年2月9日には、練馬高校の勤務先屋上にて、25倍のスポッティングスコープにより、富士山頂剣ヶ峰が

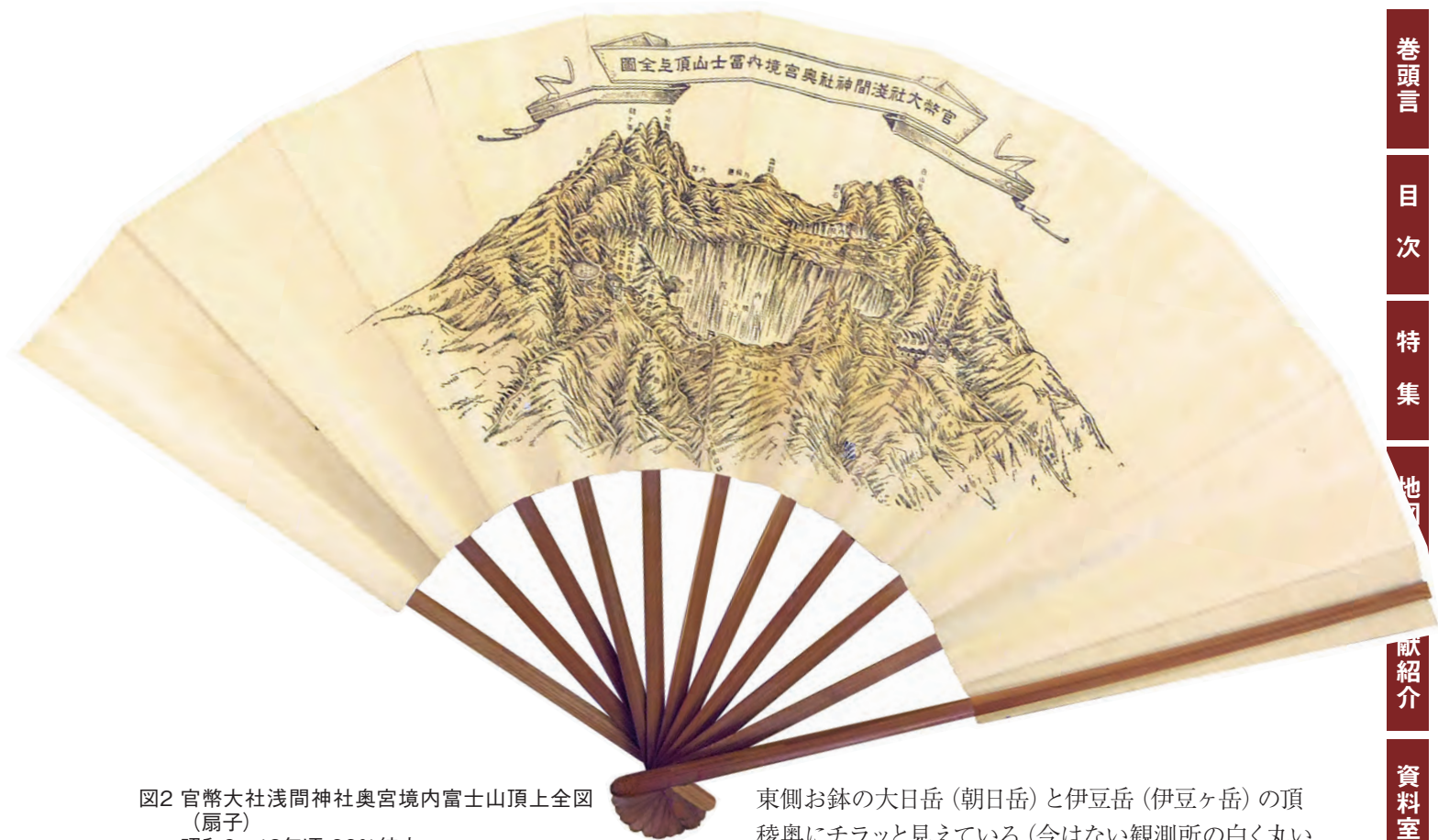


図2 官幣大社浅間神社奥宮境内富士山頂上全図
(扇子)

昭和9~12年頃 60%縮小
各絵図類は全て筆者蔵

東側お鉢の大日岳(朝日岳)と伊豆岳(伊豆ヶ岳)の頂稜奥にチラッと見えている(今はない観測所の白く丸いレーダードームは視認容易)ことを発見?し、『新ハイキ

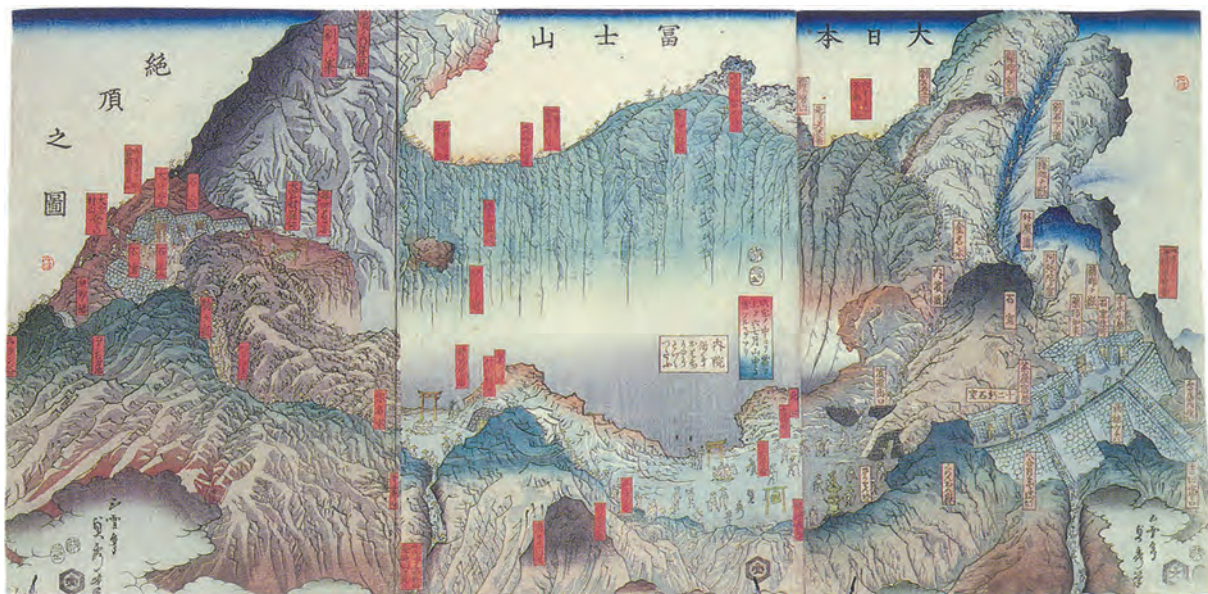


図3 大日本富士山絶頂之図
五雲亭貞秀筆（安政4（1857）年）

ング』345号（同年7月）に「東京から見える富士山頂剣ヶ峰」の画文を發表したこともあったので、人一倍お鉢巡りの山名は気になるものであり、古い絵図類の収集も始めていたので、この機会に一部紹介してみたい。

富士山頂お鉢の絵図類

江戸後期の浮世絵師として知られた五雲亭（歌川）貞秀（玉蘭齋の号も）は、「富士山真景全図」（嘉永2～3年頃）や「三国第一山之図」（同）、「大日本分境図成」（安

政2年）、「大日本富士山絶頂之図」（安政4年、50歳のとき、図3）など、自ら42歳の頃に絶頂まで登った体験に基づく絵図を發表（『横浜浮世絵と空とお絵師五雲亭貞秀』神奈川県立歴史博物館刊の図録、1997年）して、とくに絶頂之図は、山頂一帯を上空から立体的に表現。それも不可思議・異様なまでのデフォルメによって旧噴火口（内院）を取り巻くお鉢の山名や神社、石室、名水、大勢の参拝客など詳細に描写している作品である。

この作品などが先駆となって、以後、木版・石版・銅版

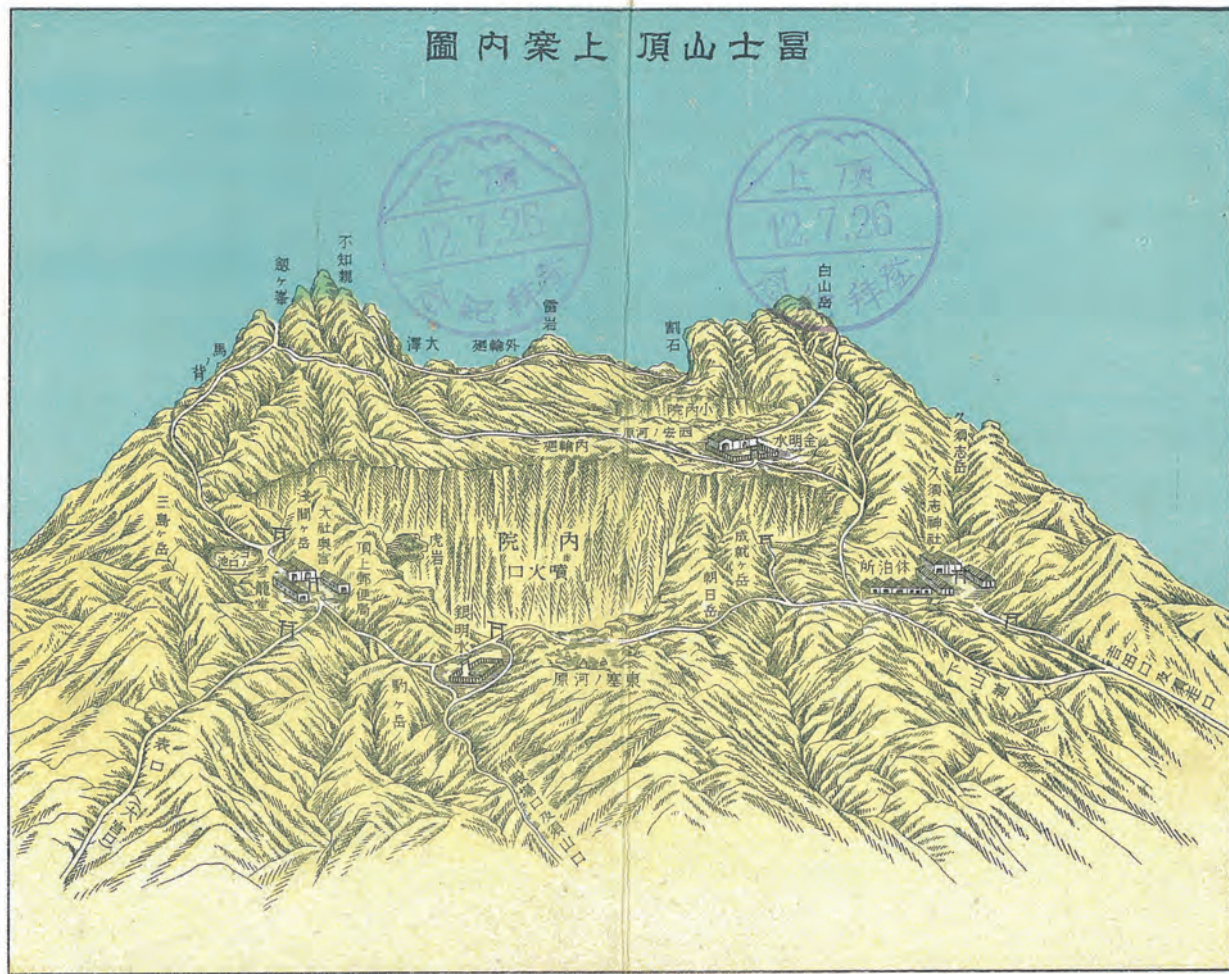


図4 富士山頂上案内図 2枚連刷絵はがき 作者者不詳 昭和12年頃 95%縮小



図5 官幣大社浅間神社奥宮富士山頂上境内全図絵はがき
(昭和4年7月14日消印登嶽記念)

富士山本宮浅間神社社務所発行 静岡文明堂謹製 95%縮小

などによる類似品がたくさん出回るようになったようだ。あの富岡鉄斎も影響を受けて、明治8年、40歳のときに富士山に登り、「不盡山頂上図」（大正9年、車折神社車折文庫蔵）を残している。2004年、出光美術館での「鉄斎」展でも公開された傑作である。

さらに「富士山頂上八峯内院并諸国遠見図」（明治10年）や「富士山御頂上之真景」（明治36年、図7）、「富士山頂上実景レリーフ絵はがき」（大正6年8月27日登拝記

念の消印、図6）、昭和初期の「官幣大社浅間神社奥宮富士山頂上境内全図絵はがき」（昭和4年、図5）、同タイトルの扇子作品（図2）、「富士山頂上案内図2枚連刷絵はがき」（昭和12年頃、図4）など、バラエティーに富む絵図類が大量に印刷され、出回っていたのである。

ということは、参拝客はこれらを購入し、土産物にしていたのだから、驚きであり喜びである。今はどうなってしまったのだろうか。

お鉢の山名の変遷

表1は、主な古文書、古地図、絵図類、登山案内書の中から、スペースの関係で代表的なものを選び、富士山頂上一帯のお鉢の山名などを拾い出してみたものである。

お鉢の突起は数え方にもよるが、10～13峰となるが、頂上の峰々を極楽浄土の蓮の花（芙蓉）の「八葉（峰）」にみたてて（江戸期の伯耆国絵図中に、伯耆大山の名を八葉と記したものもあり）、仏様の名を冠して名付けていたことが判る。

微妙な山名のズレや「八葉」になっていない場合も文献によっては一部あるが、釈迦ヶ嶽（後の白山岳）や菓

表1 文献にみる富士山頂お鉢の山名の変遷

文献 お鉢	大鏡坊蔵版 『富士山略縁起』	秋山永年 『富士見十三州輿 地全図』 天保14(1843)年	五雲亭貞秀 『大日本富士山絶 頂之図』 安政4(1857)年、図3	野中至著 『富士案内』 春陽堂 明治34年	福島源作 『富士山御頂上 之真景』 明治36年、図7	作画者不詳 『富士山頂上案内図』 富士山浅間神社事務所 昭和12年頃、図4	深田久彌編 『富士山』 青木書店 昭和15年	冠松次郎著 『富士山の旅』 富士箱根厚生文化協会 昭和24年
●剣ヶ峰	○劔ヶ嶽	○劔ヶ峯	○劔ノ峯	○劔ヶ峰	○劔の峰	○劔ヶ峯	○劔ヶ峯	○劔ヶ峯
雷岩		○雷ヶ嶽	○雷ヶ岩山	○	○雷ヶ岩	○	○(雷ヶ嶽)	○
●白山岳		○釈迦ヶ嶽	○釈迦ヶ嶽	○	○	○	○白山嶽 (釈迦嶽)	○
●久須志岳	○薬師嶽	○薬師ヶ嶽	○薬師ヶ嶽	○	○	○	○	○
●大日岳	○勢至嶽?	○不動ヶ嶽					○	○
●伊豆岳	○普賢嶽?	○元経ヶ嶽		○	○伊豆ヶ岳		○	○
●成就岳	○観音嶽	○観音ヶ嶽	○くわんのん嶽	○	○	○成就ヶ岳 (南隣に朝日岳)	○	○
●駒ヶ岳	○地藏嶽?	○駒ヶ嶽	○駒ヶ嶽	○駒岳		○	○	○
浅間岳	○浅間嶽			○	○	○浅間ヶ岳	○	○(浅間ヶ嶽)
●三島岳	○文殊嶽	○文珠ヶ嶽		○	○三島ヶ岳	○三島ヶ岳	○	○
銀明水		○銀名水	○銀名水	○	○	○	○	○
金明水		○金名水	○	○	○	○	○	○
虎岩				○虎岩	○虎岩	○	○	○
釈迦ノ割岩		○釈迦割石		○割石	○割石	○割石	○釈迦割石	○釈迦割石
大沢崩れ				○大澤	○大沢	○大澤	○大澤	○大沢
内院			○	○	○	○	○大内院	○大内院
小内院			○	○	○	○		
西安河原			○西サイ河原	○		○西安ノ河原	○	
東安河原			○東サイ河原	○	○安ノ河原	○東塞ノ河原	○	○東賽ノ河原

●は八葉(峰)

師嶽(後の久須志岳)、観音嶽(後の成就岳)、阿弥陀嶽(後の伊豆岳)、文殊嶽(後の三島岳)などの仏教的な山名が、慶応4(1868)年の神仏分離令を契機にした明治初年の仏教排撃運動と排(廢)仏棄釈によって、山岳

仏教文化が大きなダメージを受けることになってしまったのは残念なことであった。

一方、明治政府は国家神道家を擁護。そのため富士山の8合目以上一帯を所有する浅間神社奥宮の神官によ

て、仏教的の山名を一掃。なぜか、大日岳（朝日岳）を除いて改名されてしまったことが、如実に現れているようだ。

富士山登山文化史を考えるうえで、富士山頂お鉢の山名の変遷は、きちんと把握しておく必要があるのではなからうか。なお、この考え方のヒントを与えてくれた文献は、深田久彌編『富士山』（青木書店、昭和15年初版、17年普及版）の中で、深田自ら執筆した「お鉢巡り」であることも記しておきたい。

おわりに

富士山の世界文化遺産登録が実現したが、喜ばしいことばかりではなさそうだ。富士山5合目や山頂に大挙し

て押し寄せるだけでは、容量（キャパシティー）オーバーもいいところ。何らかの入山制限・規制なしには数年後には登録抹消もありうるのではと心配である。

また、江戸期以来の富士講登山にも思いをはせて、登拝する意識を高めてみたり、地形図や鳥瞰図、地勢図、観光マップなどで机上登山を楽しむのもよいし、山頂のお鉢巡りと絵図類にも関心をもっていただければ有り難いと思っている。欲を言えば、山小屋や売店・茶屋などで絵図類を復刻・再編し、再び世に問うことはできないものかと思っているのだが…。

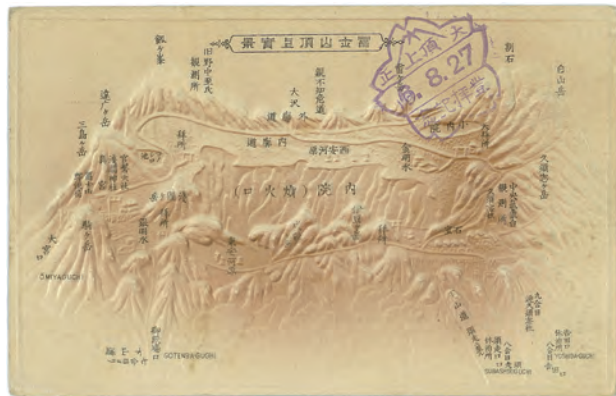


図6 富士山頂上実景レリーフ絵はがき
（大正6年8月27日登拝記念の消印）65%縮小

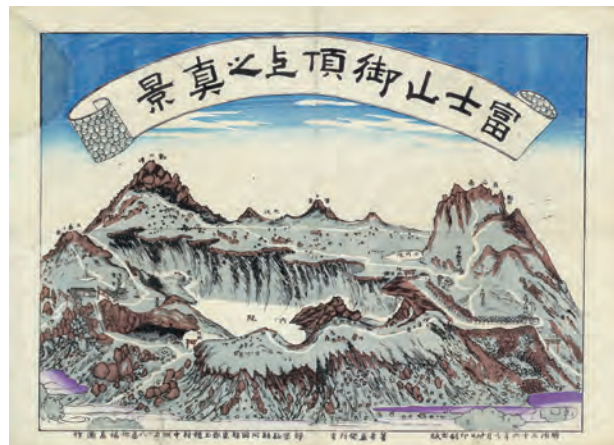


図7 富士山御頂上之真景 著作兼発行者 福島源作 彩色木版刷
明治36年7月16日印刷出版 約35%縮小

地図を学び楽しむコラム！



Chizu
Gaku

(一財) 地図情報センター理事 清水 靖夫

読図のヒント XVI 富士山の旧版地形図あれこれ

はじめて5万分の1地形図の富士山頂の噴火口を見た時、意外に小さいものだともの足りなさを感じたことがあった。その後、各地の火山の噴火口を眺めるのが楽しみになったこともあった。

明治政府や陸軍は、維新後の国内の状況を逸早く把握するために、陸地測量部の前身、参謀本部測量局に、伊能忠敬の測量図の海岸線や街道、幕府の天保国絵図その他当時集められ得る資料で編集させたものが、その作業法から「輯製二十万分一図」であった。

最初の正式測量図（基本図）は、関東平野には「二万分一迅速測図」が既に存在していたので、その西隣小田原・箱根付近から東海道方面（西方）に向かって、明治18（1885）年に着手、伊豆半島・箱根は明治19年、伊豆半島西岸から富士山、岳南にかけて明治20年に測量図化している。この年次の地図には、測量原図を仮製版した「仮製地形図」（近畿地方の仮製

地形図とは性格が異なる）が作られている、なお刊行された地形図の富士山山頂付近は、急傾斜のため等高線の一部が省略されており、眺め方によっては山頂付近の斜面が緩やかに見誤ることがなくもない。

明治23（1890）年、地形図類の縮尺の変更以前、2万分の1から編集されたのは10万分の1であった。ドイツに倣い、地形表現にはケバ（^{うんのう}暈滯）を用い、美しい「十万一帝国図」が作成されたが、完成したのは8面のみで、縮尺の変更後は「二十万分一帝国図」にその座を譲っている。「富士」図幅は残念ながら未完成、南斜面（35° 20'以南）の「沼津」が作られたのみであった。

基本図の縮尺が5万分の1に変更されると、2万分の1から編集された「五万分一地形図」に順次置き換えられた。2万分の1が2万5千分の1に編集されたのは軍事的・経済的に重要な地域のみ、大正末から昭和初年にかけて5万分の1から縮尺を小さくした編集図は、縮尺の変更後20万分の1（「二十万分一帝国図」、現在の「20万分1地勢図」の前身）となり、「甲府」は大正5（1916）年、「静岡」は^{うんせん}大正7年に製版され、濃緑色のほかし（暈渲）と50m毎の等高線（明治33年制定二十万分一帝国図々式）を用いた落ち着いた地図となった。

昭和前期、世間が落ち着くと、陸地測量部では観光

巻頭言

目次

特集

地図楽

文献紹介

資料室

用の集成図（山岳図やスキー用図、都市図）を作成している。富士山は裾野まで考えると8面ほどにわたっており、それを四六判1枚に接合し見易くした集成5万分の1図を作成し好評を得ていた。当時墨1色刷りであった5万分の1を、等高線を茶、登山道・バスルートを赤、水部を藍、上辺と下辺に淡青色で景色写真、他を墨とする5色刷りで、表紙付折本を刊行している。明治29（1896）年測図（2万分の1からの編集年）に昭和3（1928）年修正した5万分の1図を集成し、昭和5年6月10日に発行している。本図は評判が良く、一部折らないままの地図も売られた様である。

第二次大戦後は、観光用のほか防災用に多くの地図が作られている。それ等については多くの記述があり、そちらに譲りたい。

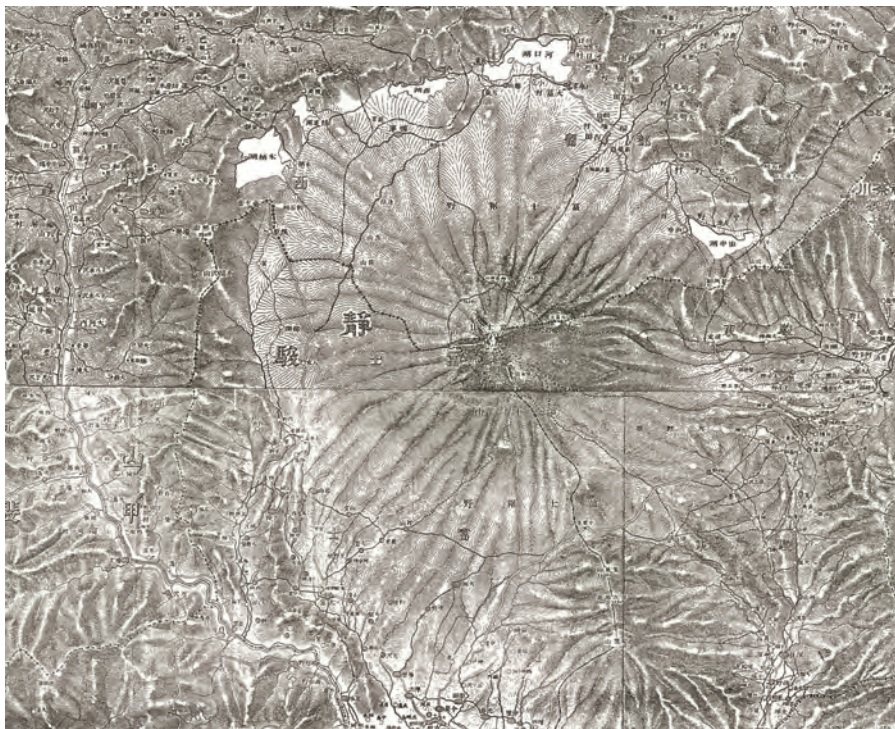


図1 輯製二十万分一図 甲府（明治20年輯製製版）、静岡（明治19年輯製製版）の富士山頂付近。山腹を強調するため多くの谷のひだが描かれている（約46%縮小）。

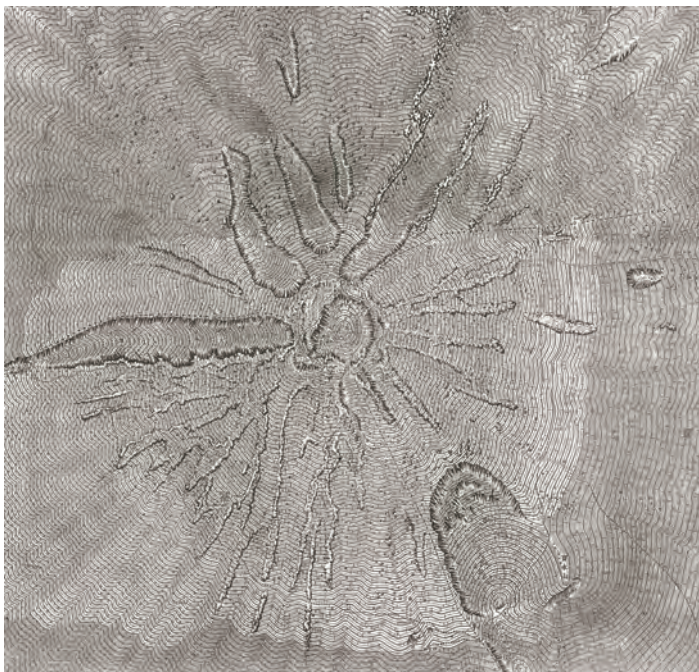


図2 二万分一地形図 富士山(明治20年測量)、山頂付近の等高線が興味深い(約34%縮小)。



図3 十万分一帝国図 沼津(明治26年製版)、2万分の1地形図を10万分の1に編集・縮小された等高線を基準にケバ(暈滲)が描かれた。ドイツでは兵隊が等高線を読み取れないためケバに描き直したと言われていた(約66%縮小)。



圖4 五万分一富士山近傍圖 昭和3年修正測圖 昭和5年6月10日發行
(右) 表紙 (約40%縮小)
(左) 富士山頂付近 (約78%縮小)



第14回 今度は気仙沼まで行ってきました。

はじめに

東北地方太平洋岸の被災地へ東京からは、南北に走



写真1 気仙沼（同年5月22日撮影）の2本ある栈橋は海へ傾斜していた。大島との連絡船は、この手前の仮栈橋から出航し、多くの工事用トラックが乗船していた。中央奥の横長の建物が、岬状の高台に建つ女子校。

る東北新幹線から東西に走るJR各線へ乗り換え、臨海部へは90分～120分程度かかる。その沿線は懐かしい故郷の閑静な景観が車窓を飾る事が多い。

気仙沼へは、東北新幹線一ノ関駅からJR大船渡線に乗り換え、狹鼻溪^{はせいびげい}など景勝地を通して80分ほどで到着する。A4判横位置2枚分に印刷した沿線の図を片手に景観の先読みをしながら車窓巡検するのは心とむもがある。

現地へ到着して

JR気仙沼駅はやや内陸に位置している（2013年5月21日～22日現地調査）（図1の赤丸印）。

臨海部まで短足の身で約30分ほどである。市役所を



写真2 津波で陸上に上がった第18共徳丸。船体の下には小型自動車^{コンパクトカー}が潰れていた（同年5月21日撮影）。何れ解体されるそうである。

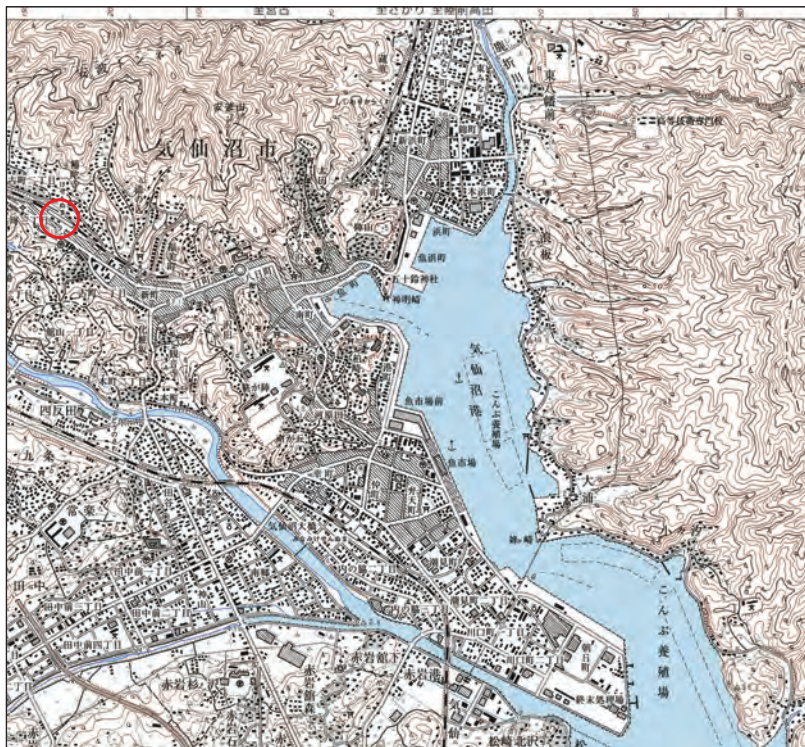


図1 2万5千分1「気仙沼」平成15年1月1日刊行①

紙原図を縮小しているので、市街地と湾入について概観を確認して頂きたい。湾内に記載されている注記は、こんぶ、わかめ、かきの養殖場を点線で表示している。赤丸印の位置がJR気仙沼駅である。

過ぎその先の臨海部へ出た途端、景観は一変し倒壊した建物などは撤去され存在しないが、古い市街地図と比較すると多くの家屋記号が描かれて

いるが、現実には町並みが失われている。
 栈橋も海中に傾斜したままである(写真1)。

2万5千分1地形図「気仙沼」を眺め、現地に接して

南から湾入してきた気仙沼湾は湾奥で北西へ向きを変えている。陸部は少しの平地があるが、背後は山がちとなっているのが見て取れる(図1)。

目立つ建物として、湾北側のホテル望洋館(10~20m高)、湾奥の気仙沼女子高等学校(記号あり 20~30m高)、南側の気仙沼プラザホテル(20m高)などは高台に位置しているため津波の被害を免れているが、臨海部の被害は甚大なものがあつたであろう事は想像できる。

ししおりからくわ JR鹿折唐桑駅

直線距離で東の鹿折川まで約580m、南東の気仙沼湾まで約700m程度の臨海部から平坦な地形に位置するこの駅前には不思議な光景が展開されている(図2、写真2・3)。もちろん地形図には表記はない。



図2① 図西側中央“からくわ”が、10m未満に位置する“JR鹿折唐桑駅”である。東に鹿折川、南東部に気仙沼湾が位置し平坦地が続いている。第18共徳丸は、駅東側の交差点手前の道路上を塞いでいる。



写真3 何が写っているかわかりますか？(Google Earth引用)
写真西側の南北の直線がJR線(休止中)。東側は殆ど平坦である。写真東側の南北の道路には、赤い車体のBRTが走っていた(写真4)。

あしたへ

2011年大震災が発生した年は、倒壊した家屋などの撤去が一気に進んだ。2年目は何処の被災地も何か復旧復興の速度が落ち停滞した様に見えた。地元の方々はその2013年は本当の意味での「復興元年」とあると、しかし半年が経過し、道路や公共施設の復旧復興が進行する中、未だ個人レベルでは仮設住宅・仮

設商店街と先の見えない厳しい生活を強いられている方々が多くいることも事実である。地形図を眺めているだけでは何も出来ない、何も見えてこない。現地へ行っ



写真4 JR気仙沼駅前から出発する赤い車体のBRT（バス高速輸送システム）。休止中のJR線に替わる代替バスである（同年5月21日撮影）。

図3① 赤線の北側が気仙沼（エースポート）港、南側が大島の浦ノ浜港。大島汽船（株）が運行するダブルエンダー（双頭型）のカーフェリーが運航されている。当然であるが航路は直線では運航できない。気仙沼湾は逆くの字型に湾入しているが、湾入口付近に大島が位置し津波の直接的な被害が軽減されたと言われるが、太平洋に面した大島は甚大な被害を受けている。



古地図を旅するXI

神戸市立小磯記念美術館
学芸担当課長
前財地図情報センター評議員

三好 唯義



地図皿の世界

江戸時代には地図や地理書の刊行がさわめて盛んであった。つまり地図が利用されていたのだが、江戸時代後半になると本来の目的から離れた利用、たとえば皿など工芸品のデザイン・意匠としても用いられるようになる。地図柄を用いた工芸品では、陶磁器類の焼物が数多く伝わっている。このことは数多く生産されたことの証で、多くの需要つまり人気に応じた生産が行われたのである。地図柄の焼物は鉢や花器などもあるが、皿が圧倒的に多く、「地図皿」という言葉が一般名詞的に使われているほどである。

地図皿は18世紀後半のいわゆる源内焼から見られ、19世紀前半の伊万里焼（有田焼）が有名である。意匠化されている地図は日本図が主で、世界図や九州図なども見られる。そして現存数からすると、地図皿とは「伊万里焼日本図皿」と言っても過言ではない。



図1 源内焼日本図皿 神戸市立博物館蔵

源内焼地図皿

源内焼は讃岐国志度（香川県さぬき市）において、長崎遊学から帰った平賀源内（1728-79年）が交趾（ベトナム）系の技法を伝え、18世紀中頃から始められたといわれ、別名を志度焼ともいう。源内焼とはいうものの、源内自身は作陶せず指導者としてたずさわりの過程で様々な器形や意匠を考案したようだ。

源内焼地図皿のデザインは日本図（図1）と世界図（図2）の二種類あり、黄・緑・紫の三彩が施され、美しいものである。

日本図を描く源内焼地図皿は正方形で、色付けや高

台の形状が異なるものがある。また皿の寸法は32cm四方程度の大きさが普通だが、20cm四方のより小型で簡易な皿も確認されている(図3)。

皿の上の日本図にはカタカナで国名が書かれており(山城と武蔵のみ例外的に漢字表記)、二個の方位盤(十二支で方位を示す日本的なもの、もう一方は西洋的な十六方位のコンパスローズ)を配する。皿の周囲には「南」「北」の方位文字があり、緯度目盛が北緯27度か

ら44度まで刻まれている。また、日本列島周辺には朝鮮や恵蘇(北海道)、大琉球(琉球)、小琉球(台湾)といった実際の土地が表現されるが、伝説上の島などは描かない。つまり、しっかりした地図情報を豊富に持っている。そしてこれらの地図情報は、他の同時代の日本図には見られない優れた点なのである。

世界図皿の方は、その手本が判明しており、それは平住専庵著『唐土訓蒙図彙』(1719年刊)中にある「山川輿地全図」である。一方、日本図は寺島良安『和漢三才図会』に含まれる「大日本国図」とよく似ているが、これが原図だというものは判明していない。ただし、緯度数を書き入れることなどを見ると、源内は相当進んだ日本地図の知識と情報を持っていたことが判る。

日本図に緯度数を記すことは、17世紀



図2 源内焼世界図皿 神戸市立博物館蔵

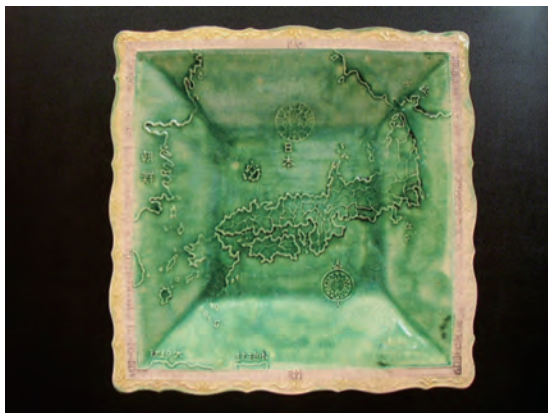


図3 源内焼日本図皿 個人蔵

前半に西洋製航海図の影響でできた地図に見られ、その後18世紀になって寺島良安の手書き日本図（1727年、神戸市立博物館蔵）や、森幸安の経緯線入り日本図『日本分野図』（1754年）があらわれる。源内はこれらを参考にして皿の日本図を考案したと思われるが、緯度数の表記や方位盤の描写は、より科学的で実証的な態度を現したものとみなされる。

18世紀後半になると蘭学の進展によって、地図はより科学的・実証的な段階へと発展するが、源内焼地図皿はその最初に位置し、単に地図柄を採用した工艺品だけにとどまらず、日本地図の歴史上でも無視できない資料といえよう。

・伊万里焼日本図皿

19世紀になると、地図柄を採用した皿類が九州の肥前有田窯（佐賀県）で盛んに作られるようになる。いわゆる「伊万里焼日本図皿」であるが、皿の裏に文政年間に作成されたことを記すものが古く（図4）、次の天保年間（1830～44年）に様々な形や大きさの皿が作られる。今に伝わる数も多いことから、当時はかなり人気を博したに違いない。器型としては円形皿の他に、長方形の四角皿もみられ、概して円形皿は大型で、四角皿は小型（25×30cm程度）である。

コバルトブルーの海上に浮かぶ日本列島の図柄は、



図4 伊万里焼日本図皿 神戸市立博物館蔵

単純な日本図いわゆる「行基式日本図」で、朝鮮・蝦夷・松前・琉球といった実際の外国地の他、伝説の地である「小人国」「女護国」を配し、方位盤や船、鶴があしらわれていたりする。簡易な「行基式日本図」が選ばれたのは、日本の姿がデザインとしてすぐに理解されやすいからだろう。ただ不思議なことに、どの伊万里焼地図皿も「加賀国」が特に大きく描かれている。これは日本図における国内表現としては異常なことであり、そこには作り手側の何らかの意図、たとえば九谷焼との関係とかが込められているのではなかろうか。

裏面に「本朝天保年製」の銘をもつ、円形の大皿(図5)を見てみよう。直径は48.3cmという、地図皿の大きさとしては最大級で、皿の上には日本図、鶴、方位盤を描き、山城や武蔵といった国名と、江戸・京・大坂などの地名が見られる。簡易な日本図ではあるが、その南方に伝説の地「女護国」が目を引く。女護国は羅刹国ともいわれ、そこに住むのは女ばかりだが実は鬼女であり、男が行けば食われ帰ることができない、とされている土地である。もともとは『今昔物語集』に含まれる女色をいさめる仏教説話に基づく地といわれるが、石川流宣の刊行日本図にも本州南方に大きく描かれ、井原西鶴『好色一代男』では、主人公世之介が伊豆からそこを目指して船出するところで話は終わる。「女護国」は、江戸時代の人々にとって意味ある土地として、日本の南方に位置していたようだ。



図5 伊万里焼日本図皿(鶴に方位盤) 神戸市立博物館蔵

伊万里焼日本図皿は、裏面に「文政年製」「天保年製」「嘉永年製」と記された作品があることから、長期にわたり人気を保っていたことが判明する。また明治時代の九州図皿などには鉄道路線と思われる描線もある。地図を描く工芸品は江戸時代の18世紀後半に始まるが、明治時代さらには現代にも続いている。地図を好む日本人の心が感じられる逸品ではなかろうか。

参考文献

- ・三好唯義・小野田一幸『図説 日本古地図コレクション』河出書房新社 2004年



文献紹介

5mメッシュ・デジタル標高地形図で歩く

東京凸凹地形案内2

都心のディープスポットから、武蔵野・多摩エリアまで

今尾恵介 監修

B5判 96頁

発行 平凡社 2013年5月

1,200円+税

本書は平凡社のムック・別冊太陽「太陽の地図帳19」であり、半年前に出版された同タイトルの続編である。東京の街歩き本は、最近留まるところを知らず出版され続けている。類書と異なる本書の一番の特徴は、タイトルにあるように「地形」に徹底してこだわっているところである。主な対象となるのは北は荒川、南は多摩川に挟まれた武蔵野台地であるが、山手線内の上野・谷中、神田・本郷、四谷・市ヶ谷、六本木・麻布といった谷と尾根が入り組む東端部や、目黒・五反田・品川、渋谷、新宿、下北沢・明大前など台地を刻んで東京湾にそそぐ河川の作った内陸部の谷と台地、また隅田川沿いの微高地は前編ですでに取り上げられているため、今回は、赤坂、牛込あたりを除くとその南北(目白・落合、王子・



滝野川、赤羽、戸越銀座、洗足・大岡山)、そして西部(阿佐ヶ谷・荻窪、小金井・国分寺、日野・豊田)、さらには遠出をして、下総台地、横浜、横須賀、鎌倉、名古屋、大阪まで取り上げられている。

ところで、先日学生を連れて港区を中心に歩いてみた。本書でも取り上げられている赤坂・山王日枝神社に集合し、渋谷駅で解散というルートである。エスカレータが設

巻頭言

目次

特集

地図楽

文献紹介

資料室

置されるほどの氷川神社の標高差を確認し、溜池を抜けアメリカ大使館横の霊南坂を上り、泉ガーデンのエスカレータを降りる。再び坂を上り我善坊谷を降りる。大規模開発前の寒々とした風景を眺めつつ神谷町に出て、飯倉の交差点まで登っては下り、東京タワーを左に見つつ東麻布の街に入る。狸穴を登りロシア大使館横を抜け麻布郵便局前が出る。六本木交差点方面に向かい、3丁目の谷間の墓と再開発ビルを抜け、首都高をくぐって氷川神社へ。元氷川坂の急坂を降り檜町公園からミッドタウンを抜け新美術館など旧陸軍関係の敷地を訪ね、六本木ヒルズに到着。これが前半。後半は毛利庭園から麻布十番の谷を下り、大黒坂を上り、一本松、仙台坂上から本村の釣り堀を訪ね、有栖川宮公園、テレ朝通り、ラオス大使館の角を降りて、霞町、筈町、根津美術館から表参道、裏原宿、隠田川暗渠を通して、やっと渋谷に辿り着いた。本書は実はこの巡検の手引き書であった。

それにしてもいったいこの間どれだけの坂を上っては下り、谷や尾根を歩いたことだろう。江戸城の西南部から大名・旗本屋敷と旧朱引の縁辺部＝寺院群を辿り、独歩の武蔵野の舞台であるかつての郊外・渋谷まで、旧江戸の西側の「半径」を歩いたということになる。このあたりまでの武蔵野台地が、谷の襲が密に入り込んだ地域であり、切絵図をもって歩くのに適した箇所といえる。谷から尾根

へと坂を上って風景が変わる。逆もまた同様であるが、その頻繁な変化こそが東京、とりわけこのあたりの遊歩の醍醐味と言えるだろう。足腰を鍛えるのにちょうど良い。

本書は、取り上げる地区をまず5mメッシュ・デジタル標高地形図で示し、地形や歴史の概要を記す。この彩色され陰影が施されたレリーフ状の地形概観によって、直感的にモザイク状の地形の構成を理解することが可能となっている。段丘面の違いも分かりやすい。今ではビル群によって覆い隠されてしまった東京の「原」地形を鳥瞰できるのである。この効果は大きい。さらにお勧め散策ルート等を等高線のない地図で紹介し、そのルートの断面図を示している。高低差が一目瞭然と把握可能である。またそれぞれの地区に一つずつコラムが設けられ、気の利いたスポット説明となっている。まさに至れり尽くせりの内容である。

また、地形の、とりわけ崖の説明が充実している点も特徴的である。いつも上り下りしている坂が単なる「坂」ではなく、何らかの契機で斜面となった地形（例えば段丘崖）であり、それが自然・人工いずれかのプロセスによって形成されたことに改めて気付くこと、段差が何を意味しているのか理解すること、こうした疑問を解くためのヒントを多く提供してくれている。風景解釈のために啓蒙的な要素を潜ませている点も実に心憎

い。筆者はこの春から、それまで暮らしてきた神戸から東京に移ったが、京阪神のそれと違い、武蔵野の台地は、まるで平板を彫刻刀で密に刻んでいったかのような襞／細工に富んでいる。本書冒頭に監修者今尾氏の説明があり、そのタイトルに「万年単位をかけた自然の作

品群」とあるが、まさに然り。ぜひ本書を持ってお出かけいただきたい。部分を超えた地形ユニットのまとまりを感じさせてくれること請け合いである。

(明治大学教授 大城直樹)

完訳 日本奥地紀行 (1~4、東洋文庫)

イザベラ・バード 著、金坂清則 訳

四六判 発行 平凡社

- 1 2012年3月 391頁 3,000円+税
- 2 2012年7月 439頁 3,200円+税
- 3 2012年11月 418頁 3,100円+税
- 4 2013年3月 420頁 3,200円+税

本書はイギリスの女性旅行家イザベラ・バード (1831~1904) が1878 (明治11) 年5月~12月の7ヶ月間、日光-会津-新潟-青森-北海道、更に東京-関西-伊勢を通訳の若者一人と共に旅した旅行記である。原著“Unbeaten Tracks in Japan”の初版は1880年に2巻本として出版された。その後版を重ね、1885年にはイザベラ・バード自身による簡略本が1巻本として出版された。簡略本は初版を大幅に省略し、関西・伊勢方面への旅、また覚え書きや4つの付録、バードが携帯した巻末折り込みの日本地図、索引などが省かれている。良く知



られている同社の既刊本『日本奥地紀行』(高梨健吉訳、1973年)は簡略本を底本としている。本書は、『完訳』のとおり、初版本からの翻訳であり省略は一切無い。

この旅行記には、各地の自然の風景や宿の様子、人々の体格や服装、振る舞いや表情、食べ物、祭りなど

についての記述は勿論、和紙の製造について、学校で参観した授業の様子、家庭生活等々見聞し、考え感じたあらゆる事が書き記されている。また、世界各国の地域や英国と比較したり、統計数値をあげて、例えば義務教育の「就学年齢者が推定で500万人いるうち実際に学校に通っているのは200万人余りにすぎない」「教師の仕事はかなり女性に開かれたものになりそうであり、すでに800人がこの仕事に就いている」というように実態を把握し、考察している。

バードは、日本の真の姿を捉えようと、注意深く観察し、現地の人々から通訳を介して聞き取りをし、資料を集めている。また、他に入手した論文や資料を参考にしており、そこに記述された内容はまさにバードの地理学的素養を感じさせるものであり、単なる旅行記というより、学術調査報告書と言えるもので、明治初期の日本や旅した地域を知る貴重な資料となっている。

本文は、具体的に丁寧書かれているため臨場感があり、自分も旅をしている気持ちになれる。また、非常に読みやすい。これは、書かれている英語一語一語について、それが実際には何であるかということを一検討して例えば「雁木」「沢庵」「もんぺ」「浜茄子」「袴」等々の訳語を用い、フィートやペンスの数値を換算して示すというように、歴史的背景を踏まえた訳者の

労作であることによる。

訳者は、旅行記の読みの「定理」を「旅行記を読むとは、その基となった旅を読み、旅する人を読み、旅した場所・地域を読み、旅した時代を読むことである」とし、旅は特定の時代の空間・場所の移動であり、空間的次元を科学する姿勢が不可欠であるとしている。そのような信念により、正確に復原したルートに基づくフィールドワークを行い、当時の地元紙や郷土資料を調べる等々の歴史地理学的調査を20年にわたり行って来た。その研究成果が、各巻毎に付された本文と同じ位の分量の訳注であり、訳者の研究成果がそこに活かされている。

松尾芭蕉の辿った道を歩く旅を実践している人は結構いると聞くが、旅行記を携えて旅をしている人はほとんどいないと思われる。その場所に行き過去の旅の時空と自分の旅の時空を主体的に重ね合わせるという「ツイン・タイム・トラベル」を新しい旅の形として訳者は提唱しているが、この形の旅が広く行われるようになれば、地理的な素養を身につけた人々が増えて行くことにつながり、素晴らしいことであると思う。評者も、この訳本を手に出かけて、明治の日本を探してみたいと改めて思った。

(帝京大学教授 滝沢由美子)

蘭学家老 鷹見泉石の来翰を読む -蘭学篇-

片桐一男 著

A4判 228頁

発行 鷹見本雄 (鷹見家第11代当主)

岩波ブックセンター 2013年5月

7,000円+税

世に渡辺華山の描いた「国宝・鷹見泉石像」は良く知られるところであるが、描かれた像の本人『鷹見泉石』はというと殆ど知られていないのが実状である。江戸後期、古河藩家老として活躍した泉石は実に多くの資(史)料を残している。多岐分野にわたる大量の資料は近年、泉石の遺族から古河市へ寄贈されたため、その研究と解析がすべて終了していないのである。故に正しい泉石像もまだ完成の域に達してはいないのである。そしてこの度、多年にわたり泉石研究をされている片桐一男先生(青山学院名誉教授)が泉石の来翰(手紙)資料の蘭学関係を調査まとめられたのが本書である。

本書を見て先ず驚くことは、江戸商人、阿蘭陀通詞、唐通事、天文方、長崎役人、蘭学者、地理学者、幕府役人、眼科医等実に多岐分野にわたり、当時の著名人と情報交換をしていたかということである。本書に登場する人物も、渡辺華山はもとより、シーボルト、杉田玄白、箕作



阮甫、桂川甫賢、谷文兆、宇田川榕庵、近藤重蔵、遠山左衛門尉(金さん)など地位、職種を越えたネットワークは驚嘆である。それだけ泉石にとっては一部に限られた情報でなく、様々な分野から、確実な信頼の置ける情報を必要としていたかが伺われる。その中で、泉石は阿蘭陀通詞からの海外情報は特に重点を置いていたようである。それは泉石の置かれた地位、職務にも関係するが、

世界の中の日本という立場を本気で考えていたという証でもある。また当然、逆に泉石からも彼らに重要な情報は発信されていたのである。一方通行ではなく相互通行が大切なことは、現代でも全くおなじである。

来翰は各ジャンル毎に分けられ、各頁の上段に現物写真を配し、その下に当用漢字で表記され、さらに著者の来翰の解説が施されているのが一段と興味を誘われるのである。原文は時に読みにくく、理解しがたくても、この解説文が本書の重要な役割を果たしているのである。

江戸時代も後期になると沢山の蘭学者が活躍したが、地理学関係者が少なく、地理や地図情報を特に必要とした泉石は、苦勞したようである。後年、古河に隠居後、阿蘭陀国の和訳地図を日本で初めて表すことになるが、細かな地名翻訳を苦勞して識者に依頼していることも、来翰から読み取れるのである。しかし、いつの世も地図を作るといことは大変な作業である。ここで最も重要

なことは、泉石は沢山の地図を収集、書写したが、地図を集める事が目的ではなく、行政に生かすための地図であったことを理解しなくてはいけないのである。俗に云う「地図コレクター」ではないのである。

現在遺族によって大切に残された来翰から現代の私たちは、当時の多くのことを学び取ることができる。ネットで簡単に世界の情報を入手することができるが、果たして、その情報はどれだけ信頼性があるのか、価値があるのかは疑問である。情報洪水のなかで泳がされているだけかもしれない。泉石のように確かな人間関係に基づく信頼のおける情報を現代人がどれだけ持てるのかが問われているようである。表紙画像の泉石が「現代人よ しっかりしろ!」と言っているよう思えてならないのである。また次回、政治篇も待たれる。スケールの大きな鷹見泉石の真の理解の為にも。

(平凡社地図出版 代表取締役社長 水谷一彦)



(一財)地図情報センターからのお知らせ (平成25年7月～9月)

《日本地図学会出展》

・8月1日～2日 (於: 東京大学柏の葉キャンパス)

《マップスキル》

・8月9日奈良大会

・8月24日栃木大会

《委員会》

・編集委員会: 7月2日③、9月6日④

・行事委員会: 7月19日②

・事業委員会: 7月18日②

資料室

2013年6月～2013年8月

本号の資料室は、『地域情報ニュース』2013年6月～2013年8月号(5～7月データ)に収録されている598件の中から161件を選んで掲載しました。

数字は出典日：年-月-日-番号
(『地域情報ニュース』の管理番号)

1102 町名

13-05-22-001 石川県

小松市は、JR小松駅東側に建設の科学交流館などが立地する約13.2haの町名を「八日市町地方」から「こまつ^{もり}の杜」に変更予定。同市は、町名変更に伴う関連議案を市議会2013年6月定例会に提出する。

1103 行政庁

13-05-08-001 山梨県

「甲府市役所」新庁舎(甲府市丸の内1丁目18-1)、2013年5月7日開庁。地下1階、地上10階建て。延べ床面積2万8450平方メートル、敷地面積8729平方メートル。

13-06-21-001 兵庫県

「洲本市役所」新庁舎は北庁舎(洲本市本町3-525-2)を解体した跡地に建設。2015年度完成予定。7階建て。延べ床面

積約1万平方メートル、敷地面積約8700平方メートル。

13-05-05-001 兵庫県

「太子町役場」新庁舎(太子町、現庁舎西500m、東芝敷地)、2014年度完成予定。3階建て。延べ床面積7265平方メートル、敷地面積約1万2000平方メートル。

13-07-18-001 香川県

「観音寺市役所」新庁舎(観音寺市坂本町1-1-1、旧市民会館跡地)、2015年2月27日竣工予定。5階建て。延べ床面積9508平方メートル。付属棟は2階建て。現庁舎跡は駐車場とする。

13-05-06-001 福岡県

「八幡西区役所」(北九州市八幡西区)、2013年5月7日移転・開庁。移転先は同区黒崎3丁目15-3、JR黒崎駅前「コムシティ」内。

13-07-10-001 長崎県

「長崎県庁」新庁舎(長崎市尾上町、魚市跡地)、2016年完成予定。行政棟が8階建て。議会棟が5階建て、駐車場棟が3階建て、警察棟が8階建て。

13-05-15-001 長野県

「小諸市役所」新庁舎(小諸市相生町3丁目)、2015年6月完成予定。市庁舎は4階建て。延べ床面積約7200平方メートル。市庁舎とつながる西隣の図書館棟は2階建て。延べ床面積約3900平方メートル。一方、「小諸厚生総合病院」は現市庁舎解体後

の跡地に建てる。2017年4月完成を目指す。

1104 官公署

13-05-22-002 北海道

「北海道十勝総合振興局」(帯広市東3条南3丁目)は2013年5月21日、振興局の名称を十勝名物の豚井にあやかって「とち豚井振興局」に“改称”と発表。

13-05-03-001 北海道

「北広島市消防署大曲出張所」(北広島市大曲中央2)、2014年3月移転・新築予定。移転先は現在地から南に約1.1km離れた同市大曲2。2階建て。

13-07-18-002 東京都

「駐日韓国大使館」新庁舎(港区南麻布)、2013年7月18日建て替え完成・開館。7階建て庁舎と官邸で構成。建て替え中は「韓国文化院」(新宿区)で業務していた。

13-07-03-002 東京都

「東京拘置所」(葛飾区小菅)、2013年7月3日落成式。12階建て4棟構成。敷地面積約16万8000平方メートル。旧庁舎は保存を検討。

13-05-07-017 神奈川県

「横浜税関川崎外郵便出張所」(川崎市川崎区東扇島、川崎東郵便局内)、2013年5月7日開所。海外からの船便郵便物の通関手続きを行う国内唯一の出張所。同出張所には6月以降、成田航空貨物出張所

や東京外郵出張所などで行っている航空郵便物の通関業務も移管予定。日本に到着する外国郵便物の約9割を扱う。

13-07-02-001 神奈川県

「鎌倉警察署」新庁舎（鎌倉市由比ガ浜2丁目11-26、現庁舎から約700m海岸より）、2013年7月8日業務開始。地下1階、地上3階建て。延べ床面積3354平方メートル、敷地面積約1700平方メートル。

13-05-23-001 新潟県

「燕警察署」新庁舎（燕市吉田西太田1946-4、燕市新庁舎東隣）、2013年5月23日竣工。3階建て。延べ床面積3076平方メートル、敷地面積6192平方メートル。近くにある粟生津駐在所は廃止。

13-06-01-001 広島県

「呉地方合同庁舎」（呉市中央3丁目）、2013年6月10日より順次業務開始。広島法務局呉支局、広島地方検察庁呉支部・呉区検察庁、呉税務署、呉労働基準監督署、中国財務局呉出張所が入る。

13-05-08-002 佐賀県

「小城警察署」新庁舎（小城市三日月町久米960）、2013年5月8日落成式。3階建て。延べ床面積約3760平方メートル。

13-05-08-003 香川県

「大川広域消防本部」（東かがわ市町田）、2015年度中移転・完成予定。移転先は現在地から北西約100mの丹生公民館跡地。

本部に併設の東消防署も同時移転。一方、取り壊し予定の丹生公民館は、2012年3月閉園の旧丹生幼稚園跡地を活用して同市が丹生コミュニティセンターを整備中。

1201 JR線

13-06-08-002 新潟県・富山県

JR東日本は2013年6月7日、2015年春開業予定の北陸新幹線「長野」～「金沢」間に新設の、3駅の名称を発表。「上越妙高」（上越市）、「黒部宇奈月温泉」（黒部市）、「新高岡」（高岡市）。

1202 私鉄線

13-07-28-001 青森県

弘南鉄道弘南線「田んぼアート駅」（田舎館村、尾上高校前駅～田舎館駅間）、2013年7月27日供用開始。4月から11月末までの季節営業駅。

13-05-20-002 茨城県

「ひたちなか海浜鉄道」の新駅「柳が丘（仮称）」（ひたちなか市田中後、湊線中根～那珂湊国道245号の高架下）、2014年10月の開業予定。中根駅から約2.3km、那珂湊駅から約1.0kmに位置。

13-07-31-003 富山県

富山地方鉄道、富山軌道線「中町（西町北）停留場」（富山市総曲輪）、2013年5月17日開業。県道富山・上滝・立山線（桜

橋電車通り）の総曲輪通りと中央通りをつなぐ横断歩道の脇に設置。

13-05-27-001 富山県

富山地方鉄道は、上市町上経田の本線、相ノ木～上市駅間約2kmに新たな無人駅を2013年12月設置予定。新駅の場所は相ノ木駅から東に約700mの地点。

13-05-15-003 福井県

京福線越前線を引き継ぐ第三セクター「えちぜん鉄道」は、福井（福井市）～永平寺口（永平寺町）間10.9km、福井～西長田（坂井市）間13.2kmの部分開業を2013年7月20日と決定。また、西長田～三国港（同市）間13.5kmを含めた三国芦原線の全線開業は同年8月10日を目指す。京福電鉄が2001年6月に正面衝突事故を起こし運行がストップして以来、2年1か月ぶりに、新鉄道として営業運転が再開。

13-07-31-004 静岡県

遠州鉄道線の2駅が2012年11月24日駅名変更。「遠州曳馬」が「^{ひくま}曳馬」（近松市中区曳馬）に、「遠州上島」が「^{かみじま}上島」（同区上島）となった。

13-06-06-001 京都府

阪急京都線「西山天王山駅」（長岡京市友岡4丁目22-1、大山崎駅～長岡天神駅間、京都縦貫自動車道長岡京IC隣接）、2013年12月21日開業予定。

13-05-08-005 京都府・大阪府・兵庫県
阪急電鉄は、京都本線の大山崎駅～長岡天神駅間で2013年度下期に予定の西山天王山) 駅(長岡京市西山) 開業にあわせ、4駅の駅名を変更すると発表。神戸本線の三宮駅(神戸市中央区) は、「神戸三宮駅」に変更。宝塚本線の服部駅(豊中市服部元町) は「服部天神駅」に、中山駅(宝塚市中山寺) は「中山観音駅」に、嵐山線の松尾駅(京都市西京区) は「松尾大社駅」に変更。

13-07-31-005 熊本県

熊本電気鉄道、菊池線の黒石～再春荘間にある電波高専前駅(合志市須屋) の駅名を、2013年3月31日から「熊本高専前」に変更。

1203 高速国道

13-06-11-001 全国

国土交通省は2013年6月11日、インターチェンジの設置の連結許可申請等について、設置の許可を行った。追加設置箇所は、スマートインターチェンジが35か所、追加インターチェンジが9か所の計44か所。

13-06-05-001 北海道

北海道横断自動車道(道東自動車道) の「浦幌IC」(浦幌町) ～「白糠IC」(白糠町) 間、2014年度開通予定。途中に「釧勝トンネル」(延長約4460m)。

13-07-12-001 宮城県・福島県

常磐自動車道、「常磐富岡IC」(福島県富岡町) ～「浪江IC」(同県浪江町) 間、2013年7月工事再開。常磐道の整備は現在、2014年度開通に向けて、「相馬IC」(相馬市) ～「山元IC」(宮城県山元町) 間約23kmと「浪江IC」～「南相馬IC」(南相馬市) 間約18kmを建設中。一方、原発事故に伴い除染が必要となった整備区間のうち、「常磐富岡IC」(福島県富岡町) ～「浪江IC」間14kmの一部で工事がストップし、共用路線の「広野IC」(福島県広野町) ～「常磐富岡IC」間約17kmが通行止めとなっている。除染が完了したことで、「広野IC」～「常磐富岡IC」間も全線にわたって復旧工事が可能になる。2013年度内の開通を目指す。

13-06-15-001 福井県

中部縦貫自動車道「永平寺大野道路」(「福井北IC」、福井市～「大野IC」、大野市間26.4km) のうち「福井北IC」～「松岡IC」(仮称) (いずれも永平寺町) 間2.2km、2014年度開通予定。また同年度には中国自動車道「吉川JCT」(兵庫県) と敦賀を結ぶ舞鶴若狭自動車道も全線開通予定。

13-05-22-003 三重県

紀勢自動車道の「紀伊長島IC」～「海山IC」間15.1km(紀北町)、2013年度中開通予定。

13-06-15-002 鳥取県

山陰自動車道は2013年度、鳥取西道路の「鳥取」～「鳥取空港IC」(いずれも鳥取市) 間のほか、中山・名和道路の「赤碓中山IC」(鳥取県大山町) ～大山町下市間4.3km、名和・淀江道路の大山町下市～「名和IC」(同) 間4.3kmが開通する。

13-05-17-001 鳥取県・島根県・岡山県・広島県

国土交通省は2013年5月16日、中国地方5県の2013年度の公共事業費配分額を発表。13年度中に8区間を開通させる。中国地方整備局によると、尾道松江線には2014年度の完成を目指し、吉舎IC(三次市)～三次東JCT・IC(同市) 間の10.3kmを2013年度に開通。世羅IC(広島県世羅町)～吉舎IC間20.4kmは14年度開通予定。広島都市圏では、国道2号東広島バイパス(広島市安芸区) の4.4km、広島南道路(中、西区) の2.6km、国道54号可部バイパス(安佐北区) の2.2km、の3区間の開通予定。東広島呉道路は14年度全通に向け、馬木IC～黒瀬IC間(東広島市) 8.8kmの整備。山陰道を構成する4道路は、中山・名和道路(鳥取県大山町、4.3km) と名和・淀江道路(同、12.1km) を開通させる。鳥取西道路(鳥取市) と仁摩・温泉津道路(大田市) は部分開通予定。

13-06-15-003 大分県・宮崎県

東九州自動車道(北九州市～鹿児島市間約436km)の未開通部分のうち宮崎県の「北浦IC」(延岡市)～「須美江IC」(同)間が2014年度、大分県の「佐伯IC」(佐伯市)～「蒲江IC」(同)間が2015年度に開通予定。北九州市～宮崎市間で未開通の5区間のうち、残りの3区間は2014年度までに開通予定。

13-06-28-003 和歌山県

近畿自動車道紀勢線の「田辺IC」(田辺市)～「すさみIC」(すさみ町)間38.0km、一般国道42号那智勝浦道路の「那智勝浦IC」(那智勝浦町)～那智勝浦町市屋間6.3km、一般国道169号奥瀬道路(II期)新宮市熊野川町玉置口～九重間5.2km、いずれも2015年度供用開始予定。一般国道42号田辺西道路の田辺市稲成町稲成～芳養町清地路間1.6km、2013年度供用開始予定。

1204 都市高速道路**13-05-28-001 大阪府**

阪神高速2号「淀川左岸線」(大阪市此花区、島屋～海老江JCT間約4.3km)、2013年5月25日開通。神戸線と湾岸線が直接つながる。開通部分のうち3.6kmは市街地の地下を走る「正蓮寺川トンネル」。

1205 有料道路**13-07-24-001 福島県**

磐梯朝日国立公園内に位置する観光有料道路、「磐梯吾妻道路(スカイライン)」(福島市)、「磐梯山有料道路(ゴールドライン)」(磐梯町～北塩原村)、「第二磐梯吾妻道路(レークライン)」(猪苗代町～北塩原村)の3線は2013年7月24日から無料となる。

13-06-14-003 茨城県・千葉県

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)「大栄JCT」(成田市)～「神崎IC」(千葉県神崎町)間約10km、2014年度開通予定。「神崎IC」～「稲敷IC」(稲敷市)間10.5kmは2013年度中の開通を見込む。

13-06-15-004 埼玉県

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)「桶川北本IC」(桶川市川田谷)～「白岡菖蒲IC」(白岡市下大崎)間(10.8km)、2014年度開通予定。圏央道の同区間が開通すれば、中央、関越、東北の各高速道路が圏央道を介して初めて結ばれる。

1206 一般国道**13-07-26-001 福島県**

国道252号バイパス「滝トンネル」(金山町滝沢地区～只見町間751m)、2013年7月25日貫通。同バイパスは延長850mで、2015年度供用開始予定。

13-07-31-006 福島県

会津縦貫北道路「湯川北IC」(湯川村)～「湯川南IC」(同村桜町)間約2.2km、2013年9月8日開通。同道路の未開通区間は2015年度開通予定の「湯川南IC」～「会津若松北IC」(会津若松市高野町)間約3.0km。両IC名は正式名称。

13-06-15-006 埼玉県

国道17号バイパス「上尾道路」の「宮前IC」(さいたま市西区宮前町)～桶川市川田谷間約11km、2014年度開通予定。

13-06-14-004 富山県

国道8号「入善黒部バイパス」(入善町柳山～魚津市江口間16.1km)の一部(黒部市古御堂～魚津市江口間約7.3km)、2014年度開通予定。

13-06-14-005 富山県 石川県

「能越自動車道」(輪島市～小矢部市間約100km)のうち「七尾氷見道路」(七尾市八幡～氷見市大野間28.1km)の「灘浦IC」(氷見市)～「七尾IC(仮称)」(七尾市)間、2014年度開通予定。なお、同区間内の「七尾城山(じょうやま)IC」～「七尾大泊IC」(いずれも七尾市)間9.3kmは2013年3月24日開通。

13-06-28-004 福井県

国道158号中部縦貫自動車道、永平寺大野道路の「福井JCT」(福井市)～「松岡IC」(永平寺町)間2.2km、2014年度開通予定。

13-05-25-001 愛知県

国道23号「豊橋東バイパス」の「豊橋東IC」(豊橋市東細谷町)～「細谷IC」(同市細谷町)間2.5km、2013年6月23日開通。これで全線9.2kmが開通。

13-06-17-003 三重県

国道42号「紀宝バイパス」の未開通区間(紀宝町井田～同町成川間1.6km)、2013年6月16日開通。これで全線(延長4.5km)開通。途中「紀宝トンネル」(680m)がある。

13-05-25-002 滋賀県

国道161号「西大津バイパス」(大津市坂本～同市横木、全長11km)、2013年6月15日全線4車線化。

13-06-28-005 和歌山県

国道24号「京奈和自動車道」の紀北東道路、「紀北かつらぎIC」(和歌山県かつらぎ町)～「打田IC」(紀の川市)間12.9km、2013年度開通予定。

13-05-05-002 鳥取県

国道9号「^{しちやま}駟馳山バイパス」(鳥取市福部町湯山～同市岩美町本庄間7.7km)、2014年3月開通予定。開通後は鳥取市と京都府宮津市を結ぶ山陰近畿自動車道(鳥取豊岡宮津自動車道)の一部となる。

13-05-19-001 鳥取県

国道313号「倉吉道路」のうち「倉吉IC」(倉吉市和田)～「倉吉西IC」(同市福光

間3.3km、2013年6月8日開通。

13-06-26-002 鳥根県

国道9号、山陰自動車道、「湯里IC」(大田市)～「福光IC」(同)間の5.9kmが2013年度開通予定。「仁摩IC」(同)～「湯里IC」間5.9kmと「熱田IC」(浜田市)～「西村IC」(同)間8.1kmの2区間は2014年度の開通を見込む。

13-05-17-003 香川県

国道11号「大内白鳥バイパス」(東かがわ市、延長9.2km)の一部、県道大内白鳥インター線～県道水主三本松線間1.2km、2013年度供与開始予定。

13-07-27-001 高知県

国道56号「土佐市バイパス」(土佐市蓮池～高知市春野町広岡上間約4.3km)、2014年度開通予定。最終工区の土佐市芝～春野町間約1.2kmの「新仁淀川大橋(仮称)」(616.8m)が完成予定。

13-05-18-002 佐賀県

国道203号「巖木バイパス」(「岩屋IC」(唐津市巖木町)～「長部田IC」(同市相知町)間約2.1km)、2013年度内完成予定。これで巖木多久有料道路からの全長6.3kmが完成。「佐賀唐津道路」(約40km)の一部。本年度、国道202号伊万里バイパス(伊万里市大坪町～同二里町間4.6km)も全面開通予定。

13-07-20-001 沖縄県

国道58号「宇嘉トンネル」(国頭村宇嘉)、2013年7月19日開通。全長584m。開通に伴い、座津武トンネルは閉鎖。

13-05-30-001 群馬県

「東毛広域幹線道路」(高崎市栄町、JR高崎駅東口～板倉町間58.61km、全線群馬県内)、2014年9月全線開通予定。未開通区間のうち、大泉町北小泉～邑楽町篠塚区間(3.05km)が2013年9月に、太田市西矢島町～大泉町境界区間(2.46km)が2014年3月に開通予定。残る伊勢崎市田中町～玉村町福島区間(3.03km)の開通が2014年9月を予定。全線開通すると、高崎、伊勢崎、太田、大泉、館林などの市町が幹線道路で結ばれる。

1207 都道府県道**13-06-01-004 東京都**

都道環状2号線「マッカーサー道路」(港区、新橋～虎ノ門間約1.35km)、2014年春開通予定。愛称が「新虎通り」と2013年5月31日決定。

13-06-28-006 静岡県

静岡県道34号、島田吉田線「大井川新橋」(通称・はばたき橋)(島田市中河～焼津市上泉、大井川)、2013年8月3日開通。長さ942m。

1208 都市計画道路・農・林道**13-05-29-002 岩手県**

都市計画道路「中ノ橋通山岸線」(盛岡市山岸～同市加賀野地区)のうち、3工区(同市加賀野4丁目～山岸間266m、山賀橋(中津川)含む)、2013年5月29日開通。

13-05-25-003 静岡県

「東静岡南北幹線」(静岡市葵区長沼、JR東静岡駅西側、同駅北側の国道1号～南側の県道静岡草薙清水線(407号、南幹線)間、大型商業施設「マークイズ静岡」の東側)、2013年7月1日開通。JR東海道線と新幹線を東静岡大橋でまたく。道路延長は540m。4車線。

13-05-20-003 大分県

都市計画道路「丸山五和線」中ノ島工区(日田市本庄町西～同市日ノ隈町両交差点間774m)、2013年5月19日開通。途中「新亀山橋」がある。

13-06-14-006 広島県

「川根原山連絡農道」(安芸高田市高宮町川根～同市羽佐竹間6.6km)、2013年6月15日開通。

13-06-16-101 山形県・福島県

林道「飯豊桧枝岐線・一の木線」(山形県飯豊町岩倉地区～喜多方市山都町間13.8km)、2013年6月15日開通。片側1車線。

13-07-26-003 長崎県

「厳原臨港港道厳原久田線」(対馬市厳原町～久田(くた)地区)、2013年7月25日開通。全長約1400mで、途中「志賀ノ鼻大橋」(全長290m)がある。

1209 歩道**13-06-05-002 山梨県**

「櫛形山トレッキングルート」(南アルプス市、櫛形山(標高2052m)西側斜面)、2013年7月7日開通。トレッキングルートは、富士川町の池の茶屋登山口(標高1850m)と同市のアヤマ平(標高1900m)を結ぶ約5.5km。

1302 ダム・発電所**13-05-31-002 京都府**

「京都府畑川ダム」(京丹波町下山)、2013年5月31日通水開始。重力式コンクリートダム、堤高34m、堤頂長87.75m。ダム湖の愛称は「下山四季彩湖」。

13-06-06-003 奈良県

「大門ダム」(三郷町南畑)、2013年6月5日完成式。堤高35.4m、堤頂長122m。総貯水量は17万7000立方メートル。

13-06-03-001 和歌山県

「切目川ダム」(印南町高串、切目川水系切目川)、2014年末完成予定。重力式コンクリートダム、堤高44.5m、堤頂長127m、総

貯水量約396万立方メートル。

13-06-26-004 鳥取県

メガソーラー「ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク」(米子市)、2014年2月稼働開始予定。敷地面積約53ha、出力約39.5MW。

13-05-14-005 徳島県

メガソーラー(小松島市、日本製紙工場遊休地)、2014年後半に稼働予定。出力2万kW。日本製紙と三菱商事の運営。四国最大の太陽光発電施設となる予定。

1304 主要建造物**13-05-02-004 北海道**

札幌市中心部、札幌駅前通り沿いの変貌。「札幌三井JPビルディング(仮称)」(札幌市中央区北2西4)、2014年8月完成予定。「越山ビル、札幌フコク生命駅前通りビル、札幌ビルディング」(北2西3)の3棟は一体建て替え、新ビルは2016年度末完成予定。地下1～2階、地上12～13階建て。「明治安田生命札幌大通ビル」(大通西3)、2013年4月解体着手。新ビル(10～15階程度)は同年12月着工予定。「札幌大通西4ビル」(大通西4)、同年4月完成。地下2階、地上12階建て。「サンデパートビル」(南2西3)、2017年完成予定。マンション、商業施設の複合ビル。札幌西武跡(北4西3)はヨ

ドバシカメラが、2012年10月に一部を平面駐車場に整備。残部は既存店（同市北区北6西5）の移転用地に計画。

13-06-21-003 北海道

「イトーヨーカドー新川店」(札幌市北区新川2条7-3-20)、2013年9月閉店。

13-07-03-003 岩手県

「イオンスーパーセンター陸前高田店(仮称)」(陸前高田市米崎町)、2014年春開店予定。売場面積約4900平方メートル。

13-06-13-001 岩手県

ショッピングセンター「イオンタウン釜石」(釜石市港町)、2014年春オープン予定。3階建て、延べ床面積約4万7000平方メートル、敷地面積約3万平方メートル。

13-06-28-007 埼玉県

「ベイシアゲート本庄早稲田」(本庄市本庄都市計画事業本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業43街区40画地)、2013年6月28日オープン。核店舗・総合スーパーの「ベイシアスーパーセンター」など、敷地面積約7万8000平方メートル、営業面積2万2000平方メートルとなる予定。

13-06-12-002 埼玉県

大型ショッピングセンター「アリオ上尾」(上尾市、大谷北部第2土地区画整理事業地)、2013年6月29日グランドオープン。2階建て、店舗面積約4万0330平方メートル。核店舗は「イトーヨーカドー上尾店」。

13-07-04-002 東京都

「グランルーフ」(千代田区丸の内1丁目9-1、東京駅八重洲口)、2013年9月20日供用開始。グラントウキョウノースタワーとグラントウキョウサウスタワーをつなぐ大屋根(長さ約230m、高さ最大約27m)・ペDESTリアンデッキ(長さ約230m、幅員最大約9m)・みどりの窓口、店舗などで構成。

13-07-23-002 東京都

商業施設「mAACH ecute(マーチエキュート) 神田万世橋」(千代田区神田須田町1、万世橋高架橋)、2013年9月14日開業。

13-07-24-004 東京都

「大手町タワー」[OOTEMORI](大手町1-6計画) (千代田区大手町1-5-5)、2013年8月30日第1期開業。商業ゾーンは10月2日に1期開業、全体竣工は2014年4月を予定。地下6階、地上38階建て。敷地面積1万1037.84平方メートル。オフィス、ホテル、駐車場などのほか、地下に商業ゾーンを配置。

13-06-29-001 東京都

「松坂屋銀座店」(中央区銀座6丁目)、2013年6月30日閉店。2017年度建て替えオープン予定。地下6階、地上13階建て。

13-05-08-004 東京都

「在日韓国大使館」新庁舎(港区南麻布)、2013年5月23日完工。延べ床面積1万4711

平方メートル。

13-05-09-003 東京都

同潤会アパート「上野下アパート」(台東区)、2013年6月建て替えのため解体開始。新マンションは2015年夏完成予定。14階建て。128戸。これで同潤会アパートはすべてなくなる。

13-06-13-002 東京都

「スカイズタワー & ガーデン」(江東区豊洲6-10-8)、2014年8月下旬竣工予定。住宅棟は地下2階、地上44階建て。公益施設棟は3階建て。総戸数1110戸。

13-05-23-002 東京都

複合ビル「JR大塚駅南口ビル」(豊島区、大塚駅直結)、2013年9月12日オープン。地下1階、地上12階建て。延べ床面積約2万3000平方メートル。オフィス、商業施設「アトレヴィ大塚」(約5900平方メートル)と専門店39店舗、スポーツ施設が入る。

13-06-11-005 神奈川県

「東急ハンズ横浜店」(横浜市西区南幸2-13)、2013年7月15日閉店、同年10月下旬、「横浜モアーズ」(同区南幸1-3-1) 5~7階で営業再開。

13-06-03-020 愛知県

「ロイヤルパークホテル ザ 名古屋」(名古屋市中村区名駅3丁目23-13)、2013年11月1日開業。12階建て。延べ床面積5729.13平方メートル、敷地面積667.69平

方メートル、客室数153室。

13-06-13-003 大阪府

百貨店「あべのハルカス近鉄本店」(大阪市阿倍野区)、2013年6月13日オープン。地下5階、地上60階建ての「あべのハルカス」の地下2階～地上14階に入居。

13-07-27-002 兵庫県

「西友新長田店」(神戸市長田区若松町5、大丸新長田店跡、JR新長田駅前、複合ビル「ジョイプラザ」)、2013年7月27日オープン。同年秋には西友を核テナントに「東急プラザ 新長田」として全面開業。地下1階、地上4階建て。延べ床面積約1万平方メートル。

13-07-05-003 和歌山県

「ダイエー和歌山店」(和歌山市小雑賀)、2013年7月31日閉店。

13-07-26-011 香川県

屋台村風の大型商業施設「高松いろは市場」(高松市、高松常磐町商店街(トキワ街)の旧OPA跡地)、2013年8月末閉鎖。延べ床面積約2000平方メートル。

13-05-14-010 福岡県

「福岡パルコ新館」(福岡市中央区天神2丁目、旧岩田屋新館ビル跡)、2014年秋開業予定。6階建て。延べ床面積約1万4000平方メートル。2館体制。

13-05-23-004 沖縄県

沖縄県営鉄道(軽便鉄道)「与那原駅」

(与那原町与那原、旧JAおきなわ与那原支店跡地)、2014年復元予定。広さ126平方メートル程度。敷地面積約1000平方メートル。

1305 企業

13-06-11-007 全国

イオン傘下で映画館を展開するワーナー・マイカル(東京)とイオンシネマズ(千葉市)は2013年7月1日に合併し、運営する映画館の劇場名を「イオンシネマ」に統一すると発表。合併後の劇場数は74、合併後の会社名は「イオンエンターテイメント」。イオンが同年2月に完全子会社化したワーナー・マイカルを存続会社とする。年内に全劇場の看板などの変更を終える予定。

13-06-25-006 岩手県

「いわて平泉農協(JAいわて平泉)」、2014年3月誕生予定。「岩手南農協」(本店・一関市竹山町)と「いわい東農協」(本店・同市千厩町)が合併。

13-06-22-002 福島県・宮城県

「相双信用組合」(本店・相馬市)と「五城信用組合」(本店・宮城県大河原町)、2013年11月25日合併。「相双五城信用組合」となる。存続するのは相双信組で、本店は同信組の本店に置く。

13-05-11-002 石川県・福井県・滋賀県
食品スーパーのバロー(本社・岐阜県)は

2013年5月10日、100%子会社のユース(本社福井市文京1丁目)を、同年10月1日をめどに吸収合併。合併時点でユース社は解散、福井、石川、滋賀の3県で展開するスーパー31店舗の名称は「バロー」に変更。

13-05-01-006 大阪府

「摂津水都信用金庫」(本店・茨木市)と、「十三信用金庫」(同・大阪市淀川区)、2014年2月合併予定。合併後の新金庫名は「北おおさか信用金庫」(本店・摂津水都信金の本店)。

1306 工場

13-06-07-004 埼玉県

キッコーマン新食品工場(久喜市中曾根字川妻752-1)、2012年12月稼働。2013年5月31日竣工記念式。2階建て。延べ床面積3221平方メートル、敷地面積6万6115平方メートル、延べ床面積3221平方メートル。

13-06-13-004 岡山県

「岡山和気ヤクルト工場」(和気町田原下字高柳269他)、2014年10月操業開始予定。延べ床面積1万3665.16平方メートル、敷地面積6万4023.90平方メートル。なお同工場の操業開始にともない、現在稼働中の大阪ヤクルト工場と神戸ヤクルト工場は閉鎖する予定。

1307 区画整理

13-05-10-009 宮城県

「仙台市あすと長町地区土地区画整理事業」(仙台市太白区)、2013年月11日竣工式。旧国鉄長町操車場跡地。総面積約82.0ha。

13-07-16-005 千葉県

「ターミナルシティ本八幡」(市川市八幡3丁目)、2013年7月16日竣工式。超高層住宅棟「グラントターミナルタワー本八幡」(地下2階、地上40階建て。延べ床面積8万9124.99平方メートル、敷地面積1万1643.29平方メートル、総戸数465戸)と業務棟「京成電鉄本社ビル」(地下1階、地上7階建て)で構成。第2期商業棟は2015年8月全体完成予定。

1401 文化財

13-05-17-007 全国

文化審議会は2013年5月17日、1件の建造物を国宝に、9件の建造物を重要文化財に指定することを文部科学大臣に答申。【国宝】「鐺阿寺本堂」(足利市)。【重要文化財】「旧開拓使工務局庁舎」(札幌市)、「旧前田家本邸」(東京都目黒区)、「尊經閣文庫」(同)、「英勝寺」(鎌倉市)、「旧鈴木家住宅」(豊田市)、「専修寺」(津市)、「堀家住宅」(たつの市)、「尾家住宅」(鳥取県湯梨浜町)。また「金山寺本堂」(岡

山市北区)は重要文化財指定を解除。

13-06-22-003 全国

文化庁の文化審議会は2013年6月21日、史跡・名勝・天然記念物の新指定16件、追加指定等24件、登録記念物の新登録13件、重要な文化的景観の新選定3件、追加選定等1件について、文部科学大臣に答申した。【史跡】「鳥海柵跡」(岩手県金ケ崎町)、「美濃金山城跡」(可児市)、「纏向遺跡」(桜井市)、「恵美須ヶ鼻造船所跡」(萩市)、「讃岐遍路道・根香寺道」(高松市、坂出市)、「津田古墳群」(さぬき市)、「宝満山」(太宰府市、筑紫野市)、「大野窟古墳」(熊本県水川町)、「富貴寺境内」(豊後高田市)、「大隅正八幡宮境内及び社家跡」(霧島市)、「佐敷城跡」(南城市)。【名勝】「披雲閣庭園」(高松市)、「棲霞園及び梅ヶ谷津偕楽園」(平戸市)など。

13-05-17-008 島根県・岡山県

文化審議会は2013年5月17日、2地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定することを文部科学大臣に答申。「津和野町津和野伝統的建造物群保存地区」(島根県津和野町)、「津山市城東伝統的建造物群保存地区」(津山市)。

1402 記念館・博物館・文化施設

13-05-08-007 東京都・京都府

観光施設「美空ひばり記念館」(目黒区、

故美空ひばり自宅)、2014年5月29日オープン予定。現在営業中の「京都嵐山 美空ひばり座」(京都市右京区)、2013年5月31日閉館。

13-05-08-009 栃木県

鉄道展示施設「SLキューロク館」(真岡市台町2474-6、真岡鐵道真岡駅前)、2013年4月28日開館。大正時代の主力蒸気機関車9600型が自力走行する。

13-07-25-006 大阪府・京都府

「交通科学博物館」(大阪市港区)、2014年4月6日閉鎖予定。2016年春に京都市下京区に新しい鉄道博物館を開設するため。

13-07-30-005 山口県

「下関市新博物館」(下関市長府川端2-2137他)、2015年3月19日完成予定。低層の延べ床面積1499平方メートルを想定。

13-07-08-003 愛知県

「豊橋市文化財センター」(豊橋市松葉町3丁目、旧母子健康センターを改装、こども未来館隣)、2013年5月18日オープン。

13-05-30-006 広島県

「町民交流センター(仮称)」(坂町坂東、町民体育館跡地)、2014年6月完成予定。4階建て。延べ床面積約5710平方メートル、敷地面積4733平方メートル。

13-05-29-004 大分県

複合文化交流施設「ホルトホール大分」

(大分市金池南1丁目、JR大分駅南側)完成、2013年7月20日オープン。地下1階、地上4階建て。延べ床面積3万6904.66平方メートル、敷地面積1万8970.61平方メートル。

1501 学校

13-05-14-012 北海道

「東海大学旭川キャンパス」(旭川市神居町忠和)、2014年3月末閉鎖予定。同キャンパスにある芸術工学部と在校生は「札幌キャンパス」(札幌市南区)に移転・移籍。

13-06-15-009 北海道

「道立千歳高等支援学校」(千歳市真々地、旧真町中学校の校舎)、2013年4月開校。

13-05-23-006 北海道

「北海道中札内高等養護学校幕別分校」(幕別町)、幕別高校の校舎内に2013年4月設置、6月8日開校式。

13-06-27-004 東京都

「東京都立志村学園」(板橋区西台1-41-10)、2013年4月1日開校。肢体不自由教育部門(小・中・高)と高等部の就業技術科が入る特別支援学校。3階建て。

13-07-05-006 神奈川県

「横浜中央看護専門学校」(横浜市神奈川区新町11-1)、2014年4月開校予定。5階建て。延べ床面積5805平方メートル、敷地面積1375平方メートル。

13-06-13-005 長野県

看護専門学校「信州木曽看護専門学校」(木曽町、木曽青峰高等学校新開キャンパス内(旧木曽山林高等学校))、2014年春開校予定。

13-07-27-005 愛知県

「穂の香看護専門学校(仮称)」(新城市川路字萩平、愛知新城大谷大跡地)、2014年4月開校予定。

13-05-08-011 和歌山

「日高看護専門学校」(御坊市菌、国保日高総合病院敷地内)、2014年4月開校予定。4階建て。延べ床面積約3700平方メ

KYOHAN

教科書販売株式会社

教販は教育の一端を担う使命感を誇りに、
新しい時代を見つめて進みます。

事業
内容

教科書および教育に関する図書・教材教具・機械等および一般出版物の取次販売業
日用品・雑貨等の保管、荷造および配送



〒343-0822 埼玉県越谷市西方3130-5(本社事務所・配送センター)
Tel. 048-961-2600 Fax.048-961-2608

ートル・同校は御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、日高川町の6市町で構成する「御坊市外五ヶ町病院経営事務組合」が運営する公立学校。

13-05-15-007 香川県

「香川県立善通寺養護学校」(善通寺市仙遊町、「四国こどもとおとなの医療センター」隣接地)、2013年5月14日、善通寺町伏見から移転・開校。3階建て。延べ床面積約8200平方メートル、敷地面積9117平方メートル。

13-07-11-004 大阪府

「立命館大学大阪茨木キャンパス」(茨木市岩倉町、奈良町、サッポロビール大阪工

場跡地)、2015年3月完成予定。敷地面積約9万9000平方メートル。2015年4月に経営学部などを移転開設予定。ビール工場跡地約12万平方メートルの残りは防災公園「岩倉公園」となる予定。

1502 公民館・図書館

13-05-03-006 沖縄県

「屋嘉部公民館」(南城市玉城)、2013年4月28日落成。

13-05-08-012 東京都

原子力規制庁「原子力関係資料閲覧室」(港区六本木1丁目9-9)、2013年5月13日オープン。原子力規制庁が入る民間ビル

内に設置。

13-06-02-002 香川県

「まんのう町立図書館」(まんのう町吉野下)、2013年6月1日開館。延べ床面積約460平方メートル。同町が町立の図書館とまんのう町立体育館「スポーツセンターまんのう」などが入った複合施設として新築。体育館は「満濃中学校」体育館としても利用。

1601 病院・医療施設

13-06-06-008 東京都

地方独立行政法人「東京都健康長寿医療センター」(板橋区栄町35-2)、2013年



ジオラマ「東京」は、航空写真、衛星写真をもとに、全て手描きによって描かれた大都市鳥瞰図(ちょうかんず)です。

皇居、東京タワーを中心に、東京首部の姿を詳細なイラストで網羅しています。また手前には、2020年開催が決まった東京オリンピックの主会場とされるお台場の現在の姿が描かれています。今後大きく変貌するこの地域を記録する価値あるイラストといえましょう。

誰が見てもわかりやすく、子供から大人まで楽しんで見ることができる大判のポスター(B2判)です。

写真やCGとはまた違う、手描きによる詳細なタッチをお楽しみいただけます。

GEO

(株) ジェオ
東京都千代田区神田神保町2-28
Tel 03-3237-3356
URL <http://www.geo-prd.co.jp/>

6月6日外来診療開始。地下1階、地上12階建て、高さ56.76m。旧病院東側約100m。

13-05-11-004 佐賀県

「九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツト)」(鳥栖市原古賀、JR新鳥栖駅前)、2013年5月29日開業。3階建て。延べ床面積約7400平方メートル。

13-07-31-014 北海道

「北海道済生会小樽病院」の新病院(小樽市築港114-1)、2013年8月1日移転・開院。5階建て。敷地面積1万9147平方メートル、病床数258床。同市梅ヶ枝町から移転するもの。

13-07-30-006 北海道

「広域紋別病院」(紋別市落石町1-18-

1、旧道立紋別北高跡地)、2015年1月31日完成予定。6階建て。延べ床面積1万1583平方メートル。

13-07-23-005 静岡県

「国立病院機構静岡富士病院」(御殿場市上井出814)、2014年度完成予定。4階建て。延べ床面積5312平方メートル。

13-05-01-009 京都府

療養病院「舞鶴市民病院」(舞鶴市溝尻)、「舞鶴赤十字病院」の東側隣接地(舞鶴市倉谷)に移転新築、2014年春開業予定。3階建て。延べ床面積約5100平方メートル。赤十字病院と医療連携を図るため2階部分に連絡通路を設ける。

13-07-29-009 奈良県

「生駒市立病院」(生駒市東生駒地内1、東生駒駅前)、2015年4月28日完成予定。地下2階、地上7階建て。延べ床面積2万8088平方メートル。

13-07-05-007 宮崎県

「都城市郡医師会病院」(都城市太郎坊町1364-1)、2015年2月28日竣工予定。6階建て。延べ床面積1万8198平方メートル。医師会病院のほか、都城救急医療センター、都城健康サービスセンターで構成。

13-07-31-017 奈良県

救急病院と看護専門学校(大淀町大字福神8-1、近鉄福神駅南側)、2015年度内完成予定。救急病院は5階建て。延べ

B U N M E I S H A

編集・デザイン・DTP／印刷・製本。さらに、そのデジタルデータをクロスメディアで再活用。
 私たち加藤文明社は、情報をいきいきさせる総合印刷会社です。

 株式会社
加藤文明社

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-15-6
 TEL.03-3261-8281 FAX.03-3261-8292 <http://www.bunmeisha.co.jp/>

床面積約2万1000平方メートル、病床数約250床。専門学校は3階建て。延べ床面積約2000平方メートル。南和地域の公立3病院（県立五條、町立大淀、吉野町国民健康保険吉野）を再編して新たに救急病院を建設するほか、看護専門学校、院内保育も整備。

1602 福祉施設

13-07-16-001 千葉県

「船橋市保健福祉センター（仮称）」（船橋市北本町1-905-46他）、2015年8月31日竣工予定。地下1階、地上5階建て。延べ床面積1万3676平方メートル。

1801 公園

13-07-03-009 沖縄県

「慶良間諸島」の沿岸海域を2013年度中に国立公園として新規に指定する方針を石原伸晃環境相が2013年7月2日表明。全国で31番目、沖縄県内では「西表石垣国立公園」に次いで2か所目となる。慶良間諸島沿岸海域は現在、「沖縄海岸国定公園」の一部。

13-07-10-007 静岡県

観光植物園「らんの里堂ヶ島」（西伊豆町仁科）、2013年7月末閉園。

1802 宿泊施設

13-06-03-023 東京都

「ホテル西洋銀座」（中央区、銀座テアトルビル）、2013年5月31日閉鎖

13-06-11-008 東京都

ホテル「ローヤルパークホテル」（大田区、現国際線ターミナル西側増築部分直結）、2014年9月末オープン予定。敷地面積約2200平方メートル、延べ床面積約1万1600平方メートル、8階建て、客室数315室。

13-07-19-008 愛知県

ビジネスホテル「ヴィアイン」（名古屋市中村区、JR名古屋駅太閤通口）、2013年7月19日オープン。13階建て。延べ床面積約



URL <http://www.totsuya-echo.jp/>

ISO 9001 認証取得
ISO 14000 認証取得
抗菌製品技術協議会 正会員

営業統括本部 埼玉県戸田市笹目北町13番地2 〒335-0033
電話 (048) 421-2233(代) FAX (048) 421-2397

生産統括本部 電話 (048) 421-2231(代) FAX (048) 421-4973

「本の化粧屋さん」です。表面加工に関しまして、お気軽にお問い合わせ下さい。



4800平方メートル、客室数238平方メートル。

13-06-05-013 大阪府

英国系高級ホテル「インターコンチネンタルホテル大阪」(大阪市北区梅田、グランフロント大阪)、2013年7月5日開業。20～32階に入居。客室数272室。

13-06-25-008 大阪府

「ラマダホテル大阪」(大阪市北区豊崎3-16-19、旧東洋ホテル)、2013年12月末廃業。

13-07-06-001 宮崎県

「宮崎・青島パームビーチ」(宮崎市青島1-16-1)は、2013年7月16日、「ANAホリデイ・イン・リゾート宮崎」に改称。

13-06-11-009 沖縄県

ホテル「AJリゾートアイランド伊計島」(うるま市伊計、旧「ビッグタイムリゾート伊計島」全面改築)、2014年4月オープン予定。

13-06-16-101 沖縄県

リゾートホテル「ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート」(恩納村富着1550-1、タイガービーチ跡地)、2013年6月27日オープン。12階建て。延べ床面積4万2213平方メートル、客室339室。

1804 娯楽施設

13-06-28-010 東京都

「マルハン松竹六区タワー」(台東区浅草

2丁目、浅草中映劇場跡地)、2014年12月開業予定。地下1階、地上8階建て。延べ床面積9883平方メートル、敷地面積1575平方メートル。500席の中劇場と300席の小劇場など。

13-07-30-009 大阪府

松竹芸能のお笑い劇場「DAIHATSU MOVE 道頓堀角座」(大阪市中央区道頓堀1丁目、角座ビル跡地)、2013年7月28日オープン。128席。

13-07-28-003 広島県

映画館「シネツイン新天地」(広島市中区新天地)、2013年12月閉館。

環境への配慮と確かな技術力で

カーボンオフセット印刷
詳しくはHPへ

営業
目次

広告企画

販売促進

デザイン

レイアウト

…各種プランニングからデリバリまで

大判ポスター

カレンダー

カタログ

会社案内

書籍

雑誌

伝票

…各種出版物の制作

情報処理

CD-ROM

DVD

Web

…各種企画製造



きれいな文字、うつくしいカラー

株式会社 **木元省美堂**



本 社 / 〒112-0011 東京都文京区千石2丁目44番5号 TEL 03-3946-3541(代)
 営業部 / 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目8丁目15番27号 TEL 048-424-1631(代) FAX 048-424-1630
 製造部 / 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目8丁目15番27号 TEL 048-421-8571(代) FAX 048-422-0790
 HP <http://www.kimoto-sbd.co.jp> E-mail info@kimoto-sbd.co.jp

13-06-26-005 広島県

「福山競馬場」(福山市千代田町1丁目1-1)、2013年3月24日廃止。

1807 道の駅

13-07-10-008 栃木県

「サシバの里 いちかい」(市貝町、役場北側、県道宇都宮茂木線沿い)、2014年4月オープン予定。

13-05-18-007 群馬県

「中山盆地(仮称)」(高山村中山地内、村営温泉施設ふれあいプラザ)、2014年3月供用開始予定。

1901 河川

13-06-17-009 島根県

「斐伊川放水路」(出雲市大津町~同市上塩冶町間4.1km)、2013年6月16日完成式。増水時に斐伊川の水を中流部から神戸川に分流する。

1906 自然公園

13-05-24-005 青森県・岩手県・宮城県
環境省は2013年5月24日、東日本大震災被災の三陸地方の自然公園を再編成し、八戸市から気仙沼市までの海岸線を「三陸復興国立公園」に指定。岩手、宮城両県に広がる陸中海岸国立公園に、八

戸市と階上町にまたがり、種差海岸階上岳県立自然公園を編入。面積は陸域1万4635ha、海域4万1300ha。今後、宮城県の南三陸金華山国定公園の同国立公園への編入も2014年中に目指す。

2001 外国・国

13-07-22-006 ベルギー

ベルギーの新国王に2013年7月21日、「フィリップ皇太子」(53歳)、が即位。第7代国王となる。

13-07-01-017 クロアチア

旧ユーゴスラビアの「クロアチア」が、2013年7月1日、EU(欧州連合)に加盟、28か国体制になる。



を伝えるコミュニケーションには、
いつでも紙があります。



日本紙パルプ商事 人と紙の未来を見つめて

東京都中央区勝どき 3-12-1 フォアフロントタワー 〒104-8656

電話 03-3534-8522(代表) www.kamipa.co.jp

2004 外国・交通**13-05-21-003 中華人民共和国**

雲南昆明地下鉄1号線と2号線(雲南省昆明市)、2013年5月20日仮営業開始。

13-07-03-010 中華人民共和国

高速鉄道、南京(江蘇省)～杭州(浙江省)間約256kmと杭州～寧波(浙江省)間155km、2013年7月1日正式開通。初期運行速度は時速300km。南京～杭州間の駅数は11、杭州～寧波間は7駅。

13-07-22-007 中華人民共和国

「嘉紹跨海大橋(南北連結プロジェクト)」(浙江省紹興市～上海市、杭州湾上約10km)、2013年7月19日開通。同橋は

6つのタワーを持つ片道4車線の斜張橋で、そのうち「主航道橋」の全長は2680m。竣工後は世界最長で最も幅の広い多塔斜張橋になる。

2005 外国・産業**13-07-27-006 中華人民共和国**

超高層ビル「天空都市」(湖南省長沙)、2014年完成予定。201階建て、高さ838m。完成すれば、アラブ首長国連邦(UAE)ドバイのブルジュ・ハリファ(828m)を抜いて世界一になる。1階から170階まで全長10kmの「遊歩道」も整備。

2102 地域選**13-06-22-005 山梨県・静岡県**

第37回ユネスコ世界遺産委員会で、「富士山」(山梨県、静岡県)が2013年6月26日に、世界遺産に正式登録された。記載名称は一覧表に三保松原を含めて記載・決定。「Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration (富士山-信仰の対象と芸術の源泉)」。

印刷テクノロジーで、
世界を変える。

TOPPAN

凸版印刷株式会社 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地 www.toppan.co.jp

〔表紙・裏表紙解説〕

富士登山案内図

今の富士山登山道を登る多くの登山・参拝者は5合目まで自動車利用で、吉田口（北口）富士スバルライン5号目、小御岳神社前こみだけからと、富士宮口（南口）富士山スカイライン新5合目からが圧倒的に多い。他に須走口（東口）と御殿場口（東表口）からのものと合わせて4ルート。ところが、昭和5年のこの案内図ではルートはほぼ同じだが、現在の御殿場線（当時は昭和9年に開通の丹那トンネルはまだ工事中で、こちらが東海道本線だった）の駅を起点に、浅間神社里宮や馬返し上の1合目から順に歩き始めるのが一般的だったことが判る。もちろん北口・南口からも盛んであったが。

案内図の発行所・販売所が御殿場なので、東口と東表口を中心にすえて、両側に南口と北口の登山道を示し、手書き絵入り山頂のお鉢も立体絵図に仕上げているのが特色であろう。須走からの里程も記し頂上まで三里十七丁（1里は約3.9km、1丁は約109m）、「午前五時ノ登山ニテ日没迄ニハ安々ト下山出来マス」は親切だ。赤丸の登山記念印は、朝陽と夕陽だろうか。

（藤本一美 鳥瞰図・展望図資料室主宰）

〔付録解説〕

日本の富士山（郷土富士カレンダー）

全国各地にある「〇〇富士」と名づけられた山を「郷土富士」「ふるさと富士」などと呼ぶ。地形的・地質的な共通性からではなく、あくまでも見た目が「本家」の富士山に似ているから付けられた名称である。中には本当に富士山だと誤認してしまうようなものから、どうしてこれが富士山?と首を傾げたくなるものもある。

数え方によるが、私が主宰する「山の展望と地図のフォーラム」の会員の調べでは47都道府県すべてにあり、465に達する。

ここではその中から代表的なものを「本家」を入れ15選んだ。写真は郷土富士の所在地の月にふさわしいものにした（薩摩富士は菜の花が満開の3月、のように）。

地図は、国土地理院の電子国土Webを使用している。サイズの都合で地名が小さくなっている点をご容赦願いたい。地図表現が工夫された電子国土Webと郷土富士のコラボをお楽しみください。

（田代 博 山の展望と地図のフォーラム主宰）



編集後記

日本の象徴である国内最高峰の「富士山」(3776m)が今年6月26日に、世界文化遺産に正式登録されました。正式名称は「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」。これで、日本の世界遺産は17件となります。

今年の7月27日～8月5日に開催された、「2013年京都国際地理学会議開催記念『地図展2013 日本の世界文化遺産』」には、富士山の各種地図も展示されたとのこと。

付録の「郷土富士カレンダー」には国内14か所の富士と呼称される代表的な山を、地図と写真と文で構成いたしました。「地図情報」初の試みです。ぜひご意見をお聞かせ下さい。皆様のお側に置いて頂ければ、幸いです。

次号128号の特集は「脚力マップ(仮題)」です。

オリエンテーリング、登山、ハイキング、サイクリング、歴史散歩(まちあるき)と、自分の脚で地図をたよりに時空を楽しみ、過ごす人が増えています。

そんな楽しみの中での、地図への想いをテーマに特集いたします。

編集委員長 清水靖夫
編集委員 水谷一彦 田代 博 大平原寛
滝沢由美子 藤本一美 進藤 誠
村野京一 安達房枝

地情報 第33巻第3号 通巻第127号

平成25(2013)年11月1日発行

編集・発行 一般財団法人 地図情報センター

発行人 中村和郎

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5
神保町センタービル5F

電話(03)3262-1486 FAX(03)3234-0872

E-mail edit@chizujoho.jpn.org

URL http://chizujoho.jpn.org/

振替口座 (東京)00190-0-41032

©2013 International Cartographic Information Center
Printed in Japan ISSN 0286-3111

第33巻第3号 通巻第127号

地情報

一般財団法人 地図情報センター 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5 神保町センタービル 5F



西白塚からの富士山と紅葉（裾野市）

写真：静岡県観光協会